

2025年度11月 定例理事会

2025年11月1日

司 会：細井副理事長

☆ 伝 達：

※敬称略

・なし

☆ 開 会：

理事長

☆ 事務手続き：

- ・定 足 数 確 認 23名中22名出席、過半数を超えますので理事会は成立します。
- ・議 事 録 署 名 人 四阿久修
- ・書 記 任 命 井上千恵子 県副コミッショナー
- ・代理出席の承認 武藤 敦(さいたま北地区委員長)代理 吉野智彦(さいたま北地区スカウト教育委員長)
半田 茂(北武地区委員長)代理 那須廣久(北武地区副委員長)
護摩所 顕(西部初雁地区委員長)代理 山本誠一(西部初雁地区協議会長)
須田次義(スカウト教育委員長)代理 戸田直宏(スカウト教育副委員長)
小島範之(ユース会議議長)代理 大阿久翔一(ユース会議副議長)
遠藤利幸(安全委員長)代理 松田一寿(安全副委員長)

☆ 連 絡 事 項：

1. 令和7年度青少年育成埼玉県民会議表彰 青少年功労賞(個人) *別紙参照
★ 宇田川 充(埼玉県連盟副理事長)
2. クマの出没に対する学校及び登下校の安全確保について ※文科省・環境省
*別紙および別刷資料参照
3. 令和8年度ウッドバッジ実修所・団委員実修所・ウッドクラフトコースの開設申請
★ 埼玉県連盟から申請なし
4. 日本連盟教育規程の改正 *別紙参照 ※10/12全団一斉メール済
5. 第26回世界スカウトジャンボリー事前調査 *別紙参照 ※10/14地区委員長メール済
★地区から県連盟回答締切 11/7(金)
6. 日本連盟公式アプリ「ScoutUP!」Android版リリース
※<https://www.scout.or.jp/member/scout-up>
7. 図解で分かるA I Sポリシー超入門 NEW *日本連盟HPからダウンロード
※<https://www.scout.or.jp/member/manage-the-ais-tools>
8. 日本連盟第3回広報セミナーのお知らせ
・開催日時：2025年11月14日(金) 20:00 - 21:00
・テーマ：【1枚のチラシが仲間を呼ぶ！スカウト広報デザイン講座！】
・当日の参加URL (youtube)： <https://youtube.com/live/FT9MgBwl12E?feature=share>
※詳細は追って日本連盟から連絡
9. 地域連携セミナー開催について *別紙参照 ※10/28全団一斉メール済

10. 2025年度青年対象のDEI推進フォーラム参加者およびファシリテーターの募集
*別紙参照 ※10/27県コミッショナーより地区コミッショナーに候補者推薦の依頼
11. 令和8年度子どもゆめ基金助成活動の募集について【助成金情報】
※子どもの体験活動・読書活動 令和8年度助成募集案内 一次募集
<https://yumekikin.niye.go.jp/jyosei/index.html>
12. 2025年度 浄土真宗本願寺派 仏教章講習会開催 *別紙参照
13. 令和7年度 浄土真宗本願寺派 仏教章取得研修会開催 *別紙参照
14. 2025年度作成「普及資料」追加希望調査 *別紙参照 ※10/27全団一斉メール済
★各団から県連盟申込締切 11/9(日)
15. 県連盟カレンダー（11月・12月・1月） *別紙参照
16. その他

☆ 協 議 題：

1. 一般社団法人ボーイスカウト埼玉県連盟定款（案）の一部修正 *別紙参照
2. 法人化に伴う事務局体制の変更 *別紙参照
3. その他

【 各種運営委員長の発言 】

- ☆ 総務企画委員会
- ☆ スカウト教育委員会
- ☆ 成人支援委員会
- ☆ 戦略本部
- ☆ ユース会議
- ☆ 施設管理委員会
- ☆ 安全委員会
- ☆ トレーニングチーム
- ☆ ボーイスカウト埼玉県育成会
- ☆ 埼玉ベンチャー大会2026実行委員会
- ☆ 第19回日本スカウトジャンボリー準備委員会
- ☆ 県連盟組織法人化準備委員会

【 日本連盟委員の発言 】

- ☆ 理 事
- ☆ 組織拡充委員
- ☆ ファンドレイジング委員

【 県コミッショナーの発言 】

【 理事の発言 】

- ◆次回運営委員長会同： 11月27日（木） オ ン ラ イ ン 19:30～21:00
- ◆次回定例理事会： 12月6日（土） 彩の国すこやかプラザ会議室1・2 13:30～15:30

■日時 2025 年 10 月 4 日(土) 13:30~15:57

角尾事務局長より理事 23 名中 19 名出席。過半数を超える報告があり県連盟規約第 17 条に基き理事会は成立した。

・議事録署名人、書記任命

議事録署名人は須田次義理事、書記は井上千恵子 県副コミッショナーが承認された。

・代理出席

浅見弘明(奥武蔵地区委員長)の代理を弓手良行(奥武蔵地区コミッショナー)

半田 茂(北武地区委員長)の代理を高野 寛(北武地区副委員長)

小島範之(ユース会議議長)の代理を足田拓真(さいたま北地区ユース会議議長)

以上、承認された。

■連絡事項

1. 第 57 回「シラコバト賞」の贈呈 《彩の国コミュニティ協議会》 ★ボーイスカウト秩父第 1 団
【角尾事務局長】 *理事会資料 P11
2. 組織活性化戦略セミナーの開催 11 月 29 日(土)【吉岡総務企画委員長】 *理事会資料 P12
3. 2025 年度「スカウトの日」参加団の通知【角尾事務局長】 *理事会資料 P13-14
4. JAMMIN とのチャリティーコラボ商品の期間限定販売について【角尾事務局長】 *理事会資料 P15-17
5. 日本連盟那須野営場の利用停止【角尾事務局長】 *理事会資料 P18
6. ワクワク自然体験遊び開催の手引の公開
※<https://www.scout.or.jp/member/wakuwakustaff2025>【角尾事務局長】 *日本連盟 HP 参照
7. 日蓮宗仏教章取得講座【角尾事務局長】 *理事会資料 P19-20
8. 書籍の取り扱いについて【角尾事務局長】 *理事会資料 P21
9. SCOUT SHOP NEWS ※新製品販売【角尾事務局長】 *理事会資料 P22
10. 埼玉県警察からの依頼 ※2026 年 4 月 1 日から自転車の交通違反に「交通反則通告制度(青切符)導入
【角尾事務局長】 *理事会資料 P23
11. 《再掲》秩父上流域バスツアー参加案内【斎藤理事長】 *理事会資料 P24-27
12. 《再掲》埼玉県連盟メールアドレスの変更 9/7 全団一斉メール済
※県連盟事務局 新アドレス office@saitama.scout.jp 【角尾事務局長】 *理事会資料 P28
13. 県連盟カレンダー(10 月・11 月・12 月)【角尾事務局長】 *理事会資料 P29
14. その他【角尾事務局長】
・県連だより配布→変更数で配布

〈ここまでの質問〉

【質問：護摩所理事】 秩父上流域バスツアーの件だが、対象は全スカウトか。指導者も含んだ人数か。

【回答：斎藤理事長】 全対象であり人数は指導者も含む。人数が多くなる場合は相談を。団合同でも可能。

■協議題

第 1 号議案 臨時県連盟総会の開催について(11 月 29 日) ⇒承認

斎藤理事長より説明

*理事会資料 P30-31 参照

団代表として 1 名のご出席を。次ページ委任状はメール、ファクス等で 11 月 22 日、事務局必着で。

承認いただければ招集状を各団に配布。開始時間は 13 時を予定(12 時 40 分受付開始)。戦略セミナーは

14 時から。臨時総会は概ね 1 時間ほどの予定。服装は制服または礼装でお願いしたい。

招集状は理事の方にもお渡しする。

第 2 号議案 第 19 回日本スカウトジャンボリー 埼玉県連盟派遣隊交通費について ⇒承認

宇田川準備委員長より説明

日本旅行に決定 新幹線の料金は基本、大人料金で算出(仕分けして算出できないため)

第 3 号議案令和 8 年度 WB 実修所・団委員実修所・ウッドクラフトコースの開設申請 ⇒承認

中牟田県コミッショナーより説明

*理事会資料 P32-33 参照

◎県コミッショナー一任 関東ブロック県連でコース調整中 ※日本連盟回答期限 10 月 31 日(金)

第 4 号議案 令和 8 年度ニッセイ財団「児童・少年の健全育成助成」推薦団(3 ケ団) ⇒承認

角尾事務局長より説明

*理事会資料 P34-35 参照

◎川口第 1 団 ◎さいたま第 101 団 ◎坂戸第 1 団

※推薦条件：未推薦団・9 月スカウト数・県連盟事務局指定商品による物品申請

■各種運営委員長の発言

●総務企画委員会

*理事会資料 P36-47 参照

吉岡委員長より定例委員会報告

➢2025 年 8 月登録実績

➢広報「県連だより」 161 号(10 月配布)

➢フォトコンテストの募集チラシ P46 ※被写体はスカウトの様子をぜひ

➢組織拡大特別顕彰(友情バッジ) 2025 年度申請状況(8/31)

➢上進者率アンケート アンケート結果再加工中

➢広報活動 ・「ワクワク自然体験あそび 2025」 各地区申請・実施状況報告(9/27)

➢埼玉県連盟 HP 改修：現 HP 改修、SNS ツール立上げ

➢2025 年日本連盟「組織活性化戦略セミナー」開催日時：11/29(土)

※同日「埼玉県連盟臨時総会」開催予定

➢2025 日本連盟「組織拡充委員会」開催 第 3 回 10/25-26

●スカウト教育委員会

*理事会資料 P48-49 参照

須田委員長より定例委員会報告

➢10 月富士章面接

➢10 月技能章審査員委嘱

➢進級各章申請対応

➢スカウトフォーラム ※ポスター合計 36 枚の審査準備中

➢BSA-FEC 「International Scouting-Japan, 2025」

➢埼玉ベンチャー大会 2026

➢JOTA-JOTI「ジャパンプレミア 2025」開催

➢パインウッドダービー2025 埼玉県大会

➢その他 ・進級章申請書は不備がないように ・野営章取得についての問い合わせ

●成人支援委員会

*理事会資料 P50-52 参照

四阿委員長より定例委員会報告

➢「WB 研修所スカウトコース_埼玉第 16 期」終了

➢ローバー隊活性化に向けた定型外訓練 終了

➢埼玉ウッドバッジ・リユニオン 2025 本日開催

➢「WB 研修所課程別研修_埼玉第 13 回」の申し込み状況

➢「団委員研修所_関東第 28 期」の開設 ※参加に各地区のご協力を

➢2025 年度ボーイスカウト講習会の開催について

●戦略本部

*理事会資料 P53 参照

宇田川副理事長より報告

➢事業計画の前半(上期)進捗状況

➢防災キャラバン 会場・日程変更

➢各団、各地区の行政との関わり方、繋がり方の調査を実施予定

※戦略本部では事業計画として本件に取り組む

※県が展開している各種委員会組織に参加している理事長・副理事長は今後参加組織と活動について報告

〈ここまでの質問〉

【質問：護摩所理事】各団の行政との関わり方の調査の件だが、直接、戦略本部が調査を行うのか。

実際の実働部隊は各種委員会、コミッショナーではないか。戦略本部が考えて必要なことを委員会が行うのが本来では。地区、団にも戦略本部があるわけではないので。発信元は戦略本部として実行するのはどこか。

【回答：細井副理事長】地区で取りまとめをする人がいないということだと思うが、本来であれば担当してほしいのは団担当コミッショナーか。前は団担当コミッショナーに行ってもらった。何か工夫すると思う。

【質問：細井副理事長】四阿委員長、団委員研修所は最低実施人数は決まっているか。

【回答：四阿成人支援委員長】12 人です。

【質問：細井副理事長】開催決定は 11 日に出してもらえんと思っていいか。

【回答：四阿成人支援委員長】11 日を待っても無理なら。今 6 人で、各地区に掘り起こしをお願いしていた。

【発言：角尾事務局長】今回、民間施設を利用するので予約をしている。キャンセルするなら早めでないといふペナルティがかかる可能性がある。

【発言：中牟田県コミッショナー】関東ブロックの中にも声をかけている。千葉県連の方は今回スタッフ協力もしていただいている。5 名の参加者の予定はあるということで、今日出ている数字にプラス 5 になるのでは。

【発言：四阿成人支援委員長】当団から 1 名の参加予定がある。

【発言：中牟田県コミッショナー】それでよしということではなくて、皆さんご協力を更にお願ひしたい。

コミッショナーの皆さんにもお願いは継続している。

【発言：細井副理事長】未修了の正副団委員長とか、地区コミッショナーはわかっていると思うが、そこにプロモーションがどうかかっているのか、と思う。

- ユース会議 *理事会資料 P54 参照
 足田さいたま北地区ユース会議議長より定例会実施報告
 ➤県ユース会議の事業について
 - ① キックオフキャンプについて ※10/3 現在の申し込み状況(県外からも申し込みあり)
 - ②安全委員会へ救護所設置依頼
 ➤県ユース会議に関係していることについて
 - 施設管理委員会 *理事会資料 P55 参照
 荒木委員長より定例委員会報告
 ➤次回東秩父野営場整備について
 ➤購入品について
 - 安全委員会 *理事会資料 P56 参照
 遠藤委員長より委員会報告
 ➤Saitama Youth Kickoff Camp2025 救護所協力(宿泊あり) メディカルチーム2名、安全委員会2名
 - トレーニングチーム *理事会資料 P57 参照
 脇田ディレクターより報告
 ➤指導者訓練派遣
 ➤その他の定型外訓練
 ➤他訓練 リーダートレーナーコース第44期
 ➤今後の会議・集会予定
 - ボーイスカウト埼玉県育成会 *理事会資料 P58-59 参照
 鈴木理事より報告
 ➤2025年度 埼玉県育成会・維持会費・支援自販機 実績明細(9月末)
 ➤2025年度 日本連盟維持会費目標依頼達成状況(8月末日現在)
 - 埼玉ベンチャー大会実行委員会 *理事会資料 P60 参照
 脇田実行委員長より報告
 ➤告知: 第2回キックオフ&プロジェクトチーム交流会 10月26日
 ➤大会公式 LINE QRコード(送信数に制限があるためスカウトのみ登録可)
 - 19NSJ 準備委員会 *理事会資料 P61-64 参照
 宇田川準備委員長より報告
 ➤9月理事会で確定した派遣隊のスカウト人数割り振り
 ➤参加申込について 申込様式をデータで配布
 ➤大会スタッフ→派遣隊一個隊につき10人の参加
 ➤派遣隊指導者(隊長以外)の半日程参加
 ➤参加予定申込 団から県連への申込期日 2025/10/31 まで
 ➤確定申込→確定申込書は別途 団から県連への確定申込提出
 ➤参加時移動手段について→「新幹線+福山駅からバス」(協議題にて決定)
 ・輸送担当準備委員に杉尾理事加入。
 ➤派遣隊スカウトに女子がいる場合は、必ず女子指導者を派遣隊に
 ➤大会運営スタッフが地区割当に満たない場合は、派遣隊の人数を調整する場合がある
 →各地区においては大会運営スタッフを1個隊につき10人になるよう出す
 ➤第3回準備委員会 議事録
- 〈ここまでの質問〉
- 【質問: 中牟田県コミッショナー】ユース会議に。小島議長にキックオフキャンプの最新の詳細な情報を送ってくださいとお願いしてあるが送っていただけてない。県連盟に開・閉会式の挨拶の要望もあり、プログラムの内容についても県連側が把握できていないため最新情報をいただきたい。各実行委員の中での安全管理担当者や役務分担まで、コミッショナーの立場では確認をしたい。小島議長が主催責任者ならば改めて送っていただくようお願いしたい。
- 【回答: 足田】ユース会議主催の事業なので小島議長が責任者となる。伝えます。
- 【質問: 奥武蔵地区委員長代理弓手地区コミッショナー】19NSJ だが、66 ページの奥武蔵地区の大会スタッフが4名となっているが10名です。訂正を。
- 【回答: 宇田川準備委員長】わかりました。
- 法人化準備委員会 *理事会資料 P65 参照
 斎藤理事長より報告
 ➤臨時総会について 協議題で承認されたので各団へ招集状を配布する。
 臨時総会前に定款、一部組織変更の規約等を理事会に示し、総会で協議いただく。
 ➤今後の予定 司法書士事務所による書類の審査を経て、総会承認後、登記手続き→概ね12月初旬から1月にかけて各種登記手続き等を行い受理されれば法人をスタート。
 ➤会計処理の方法を他県連の方法を参考に、税理士事務所と相談しながら整えていきたい。

■日本連盟理事・委員会委員の報告

*理事会資料 P66 参照

●日本連盟理事会

山本副理事長(日本連盟理事)(欠席 資料の通り)

●組織拡充委員会【杉尾委員】(欠席 資料の通り)

●ファンドレイジング委員会【鈴木委員】

➢9月6日定例委員会報告・広報委員会と合同の対面会議

➢9月16日財務委員会(オンライン)にファンドレイジング委員として参加

■県コミッショナーの発言

中牟田県コミッショナーより報告

*理事会資料 P67-68 参照

➢9月コミッショナー会議連絡・報告

➢今月のテーマ 地区別討議と共有「特別な配慮を必要とする青少年のスカウティングについて」

➢日本連盟への問い合わせ窓口通報事案(苦情その1)9/21

→全地区コミッショナーを通じて全団確認(10/4)、該当団なし。

➢日本連盟への問い合わせ窓口通報事案(苦情その2)9/28

→さいたま市内所属団であることを確認。当該地区コミッショナーより報告。

県コミッショナーより通報者へ謝罪文送付。日本連盟へも同報にて報告済み。

※全地区コミッショナーからは、このようなことはあってはならないと十分に理解した。今後発生しないように周知していくと回答が寄せられた。

➢日本連盟への入団問い合わせに対して(未対応)

→当該地区コミッショナーグループにて、直接問い合わせ者へ確認を入れて現況確認を依頼

➢セーフ・フロム・ハーム 日本連盟通報(8月)2事案について→ 対応中

※日本連盟への通報(苦情、SfH、入団問い合わせ等)が続いた。SfHに関しては県連盟の通報窓口には県連盟のHPからの入り方がわかりにくく、相談しにくいということがある。事務局長にお願いし、HPの改修を早め、システム構築をしていく。

また、日本連盟への通報は地区・県に相談しても解決できないので、日本連盟の力で解決してもらえるのだと思われている方が多い。事案に関してはすべてコミッショナーに来るため、県コミッショナーの責務として、一般の方への謝罪も、指導・教育が行き届かなかったと反省いたします。

※「ビーバー隊の宿泊を伴う活動」について。先月理事会は欠席だった。議事録で県コミッショナーが一方的で高圧的であるように受け止められていたので、改めてこの件に関してはお詫び申し上げます。

もう一つ、「ビーバー隊の宿泊を伴う活動」については、「禁止はされていません」という発言があったが『ビバースカウト隊リーダーハンドブック』の中で禁止はされている。基本方針の第1項目の中には『実施はしません、行いません』と書かれている。2項目目の中に『しかしながら〈やむを得ず〉』という表現で書かれている。県コミッショナーとして、一方的にではなく、3年間、地区コミッショナーを通じて実施団に宿泊活動を行った理由についてヒアリングを行った。内容も理事会で報告した。〈やむを得ない〉理由だったのかという判断も同時にコメントした。

コミッショナー会議でも100%同じ意見ではなく、それぞれの意見を持っている。実施する方法はないのかという意見もあった。今の方針としては実施しないというのを前提にしている。日本連盟が変わってくれば当然変えていく必要がある。「行いません」という前提の中でやむを得ずという理由に、ヒアリングの中で匹敵する隊がなかった。これは協議をするということではなく、「行いません」というルールを変えずに示してこれを守ってくださいという意図である。

実施した団もあったが、一旦ルールを決めてルールを逸脱した行動をしたら活動の評価もできないので、基本は書かれている内容に沿って守られているか、守ってくださいということを明示したほうがよいと表現をさせていただいた。今後話し合いの機会は必要かもしれないが、話し合いの場に着かないということではなく、ルールとして守っていただきたいというのが今回の趣旨であったということをご理解をいただきたい。一定のルールがあるにも関わらず、安全を考えた時に、猛暑の環境の中で、1泊ではなく2泊も3泊もし、県外の活動を実施された団が多くあった。ご意見があればどうぞ。

【質問：高橋理事】これについて機会は持っていただけるか。もう一つ納得いかない。私自身は。

【回答：中牟田県コミッショナー】どの部分か。

【質問：高橋理事】基本的に日本連盟がビーバー隊の宿泊はやってはいけないとしているのは承知している。

リーダーハンドブックの中では、団行事、地区県連行事としてやむを得ず宿泊を伴う活動に関しては配慮事項を守れば良いというような意味合いに取れる記述がある。日本連盟はある程度容認している部分があるのに、県コミッショナーの方針が通ってしまうのか。もう一点、人数が減ってきている、増員しろというのに活動自体は縮小している気がする。楽しい活動を保護者も求めている。他県連も宿泊していると思う。日本連盟の教育規程が禁止だと言ったらやってはいけないと思うが、埼玉県連の総意のような言い方で納得がいかない。

【回答：中牟田県コミッショナー】県連として行わないと言ったのは間違いはない。団行事イコール〈やむを得ず〉宿泊を伴わなければならないということになるのか。

【質問：高橋理事】団行事として〈やむを得ず〉というのかもわからない。団行事として毎年実施していた。

【回答：中牟田県コミッショナー】それを3年、4年かけて実施しない方向でやってきたつもりだ。

【質問：高橋理事】日本連盟が容認しているのに県連が独自に禁止にしているのか、そこがまず理解しにくい。

【回答：中牟田県コミッショナー】日本連盟は基本として「行いません」という、1番上に書いてある通り。

【質問：高橋理事】それは配慮事項考えたらやっていい行事になるのでは。

【回答：細井副理事長】そういう風には読み取れないが、〈やむを得ず〉という意味の理解だと思う。団行事だったら配慮事項を守れば実施していいとは書いてない。〈やむを得ず〉実施しなければならない事情はここ何年間見ていたらなかった。状況把握をしたら、〈やむを得ず〉という状況がなかったからルールに従って実施しないようにと言っているだけの気がする。

【発言：角尾事務局長】万が一、スカウトが亡くなりました、というと、裁判で負ける。保護者から訴えられた場合、必ず負ける。リーダーハンドブックにやってはいけないと書いてあるから。

【質問：高橋理事】日本連盟保険が下りると聞いた。

【発言：角尾事務局長】賠償責任は発生する。「そなえよつねに共済」は下りる。安全配慮義務がなかったという風に訴えられ、裁判においてリーダーハンドブックにやってはいけないと書いてあれば賠償責任が発生する可能性がある。

日本連盟の賠償責任保険が下りるかどうかはわからないが賠償責任が発生するのは間違いない。

【発言：護摩所理事】県コミッショナーは日本連盟から委嘱されている。県連において県コミッショナーの発言はイコールである。県の教育の最高責任者として。日本連盟と県連では上下関係はない。私は地区委員長として教育に関しては県連盟にお任せしている。県連盟の方針に従ってビーバー隊の宿泊は行わない。前提としてビーバーは宿泊を伴わない活動と理解している。前提の話と思う。前提がそうであれば元々そういう（宿泊をともなう事がない）プログラム、行事になる。

【発言：細井副理事長】カブ隊はテント張ってキャンプしません、と一緒にである。

【発言：斎藤理事長】護摩所理事の発言にもあったが、何かの事情で中牟田県コミッショナーが突然辞めたら代行は置けない。日本連盟コミッショナーが来る。地区コミッショナーとは任命権限が違うので。村田総コミッショナーもビーバーの宿泊の件については承認している。理事会の中で話をしていくと相当時間が必要。今ここで説明できることはご理解いただきたいと思う。県コミッショナーは3年間協議、話し合いをしっかりとってきている。ここに至る前の段階で地区でも協議していただいていると思う。

【発言：前川理事】論点は〈やむを得ず〉の解釈かと思う。別の機会を設けていただけたら。おそらく消化不良ではないかと思う。

【発言：中牟田県コミッショナー】各地区におかれては、地区コミッショナーからこの件に関して、県コミッショナーからこのような報告があったということで終わっているのか、地区の方で協議をされているのか？実態はどうか、私の方でも地区コミッショナーに確認する。

【発言：前川理事】ひがし地区ではビーバーの宿泊は禁止と徹底している。

〈事務局から〉【角尾事務局長】

- ・9月議事録の訂正
 - 3ページ、伝達のWB実修所ボーイスカウト課程第207期 佐藤秀臣(川口第21団)
 - 欠席となっているが正しくは出席
- ・臨時総会の招集状→本日、理事には配布。各団には月曜日に郵送

〈理事の発言〉

【質問：護摩所理事】臨時総会だが、地区委員長の立場と団の立場は分けた方が良いか。

【回答：斎藤理事長】もし地区委員長が団委員長だったら、団委員長の代表としてお願いしたい。団代表ではない理事の方は参席ということをお願いしたい。

■閉会 細井副理事長

次回定例理事会： 11月1日(土) 彩の国すこやかプラザ会議室 1.2 13:30～15:30

議事録署名人 須田次義 理事

青 埼 会 第 4 6 - 1 号
令和 7 年 1 0 月 2 1 日

日本ボーイスカウト埼玉県連盟理事長 様

青少年育成埼玉県民会議
会長 大野 元裕（公印省略）

令和 7 年度青少年育成埼玉県民会議表彰受賞者の決定について（通知）

青少年育成県民運動の推進につきましては、日頃から格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

貴職から推薦のありました標記の表彰について、選考委員会において下記のとおり受賞者を決定しました。

つきましては、表彰式を開催しますので、御協力くださるようお願いいたします。

記

1 表彰受賞者について

（賞名） 青少年育成功労賞（個人）
（団体・氏名） 宇田川 充
（推薦者） 日本ボーイスカウト埼玉県連盟理事長

2 その他

- （１）表彰式の開催について、別添の通知を受賞者にお渡しください。また、お手数ですが、出欠について受賞者に確認の上、別紙「令和 7 年度青少年育成埼玉県民会議表彰式への出欠について」により 1 1 月 5 日（水）までに担当宛て御回答ください。
- （２）別紙に記載された受賞者の氏名等を御確認の上、訂正が必要な場合は至急御連絡くださるようお願いいたします。
- （３）表彰式当日に、当方にて撮影した写真データを後日提供いたします。

担 当 事務局 金澤
（埼玉県県民生活部青少年課内）
TEL 0 4 8 - 8 3 0 - 5 8 5 8
E-mail a2905-12@pref.saitama.lg.jp

全国的にクマの被害が発生していることを踏まえ、児童生徒の安全を確保するための留意点等を示しますの
で、学校及び登下校の安全確保について、各地域の実情に応じた対策の検討や注意喚起等をお願いします。

事 務 連 絡

令和7年10月30日

各都道府県・指定都市教育委員会学校安全主管課
各都道府県私立学校主管部課
附属学校を置く各国公立大学法人担当課
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた
各地方公共団体の学校設置会社担当課
各文部科学大臣所轄学校法人担当課
各国公私立高等専門学校担当課 御中
各都道府県教育委員会専修学校主管課
各都道府県専修学校主管課
専修学校を置く各国立大学法人担当課
厚生労働省医政局医療経営支援課
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課

文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

クマの出没に対する学校及び登下校の安全確保について

近頃、全国の様々な地域において、市街地や集落など人の生活圏でのクマの被害が発生しており、クマ出没に対する学校生活や登下校の安全確保や不安解消について、これまであまりクマの出没が見られなかった地域も含め、対応が求められているところです。

クマの出没に対する学校及び登下校の安全確保については、別添の環境省作成の「クマ類の出没対応マニュアルー改定版ー」や地方公共団体における取組事例を参考に、日頃からクマの出没情報に留意し、必要に応じて、通学路の点検や変更、クマの出没時の安全対策や連絡体制など、各地域の実情に応じた対策を検討いただくとともに、危機管理マニュアルへの記載や学校及び登下校時、日常生活における注意喚起をお願いします。

また、対策の検討に当たっては、地方公共団体の鳥獣被害対策にかかわる関係部局や地域の警察署と連携協力を図るなどの検討をお願いします。

このことについて、各都道府県・指定都市教育委員会においては所管の学校（専修学校を含む。以下同じ。）及び域内の市区町村教育委員会に対し、各都道府県私立学校主管部課においては所轄の学校法人及び学校に対し、附属学校を置く各国公立大学法人担

当課においては所管の附属学校に対し、構造改革特別区域法第 12 条第 1 項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課においては所轄の学校設置会社及び学校に対し、各文部科学大臣所轄学校法人担当課においてはその設置する学校に対し、厚生労働省の専修学校主管課においては所管の専修学校に対して、それぞれ周知いただくようお願いいたします。

周知に際しては、全ての学校に一律に周知するのではなく、その周知先を適切にご判断いただくとともに、各学校において留意が必要な点を整理するなど、効率的・効果的な周知を行っていただくようお願いいたします。

(別添 1)

クマ類の出没対応マニュアル－改定版－ || 野生鳥獣の保護及び管理[環境省]

※特に(別添 1) 内の 2 ページ「5. 人の生活圏への出没防止」参照

(別添 2)

学校における危機管理の手引(改訂第 3 版)の追録[北海道教育委員会]

(別添 3)

花巻市教育委員会等クマ出没対応マニュアル[岩手県花巻市教育委員会]

(別添 4)

男鹿市教育委員会クマ出没対応マニュアル[秋田県男鹿市教育委員会]

< 本件担当 >

文部科学省総合教育政策局

男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育推進室

電話：03-6734-2966 E-Mail：anzen@mext.go.jp

環境省自然環境局

野生生物課鳥獣保護管理室

電話：03-5521-8285 E-mail：shizen-choju@env.go.jp

日連発第25-578-1号
2025年10月8日

ボーイスカウト都道府県連盟

理 事 長 各 位
県 コ ミ ッ シ ョ ナ ー 各 位
事 務 局 長 各 位

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

専 務 理 事 出 田 行 徳

教育規程および施行細則の改正について（通知）

本年10月に開催しました理事会におきまして以下の通り教育規程および施行細則の改正が承認されましたのでお知らせいたします。

つきましては、貴連盟内各組織にお知らせくださいますようお願い申し上げます。

また、本件につきましては当連盟ホームページにも掲載いたします。

記

【教育規程および施行細則の改正】

第7章 教育の方法（信仰奨励章）

本則

7-6 信仰奨励章
7-54 初級
7-55 2級
7-56 1級

施行細則

7-6-1 信仰奨励章の取得要件

承認：2025年 9月7日 教育推進本部会合承認
10月4日 理事会承認
施行：2026年 4月1日

本件についてのお問い合わせ：総務担当

電話：03-64913-6262 Eメール：soumu@scout.or.jp

第7章 教育の方法（海外渡航）

本則

- 7－8 海外渡航
- 7－9 海外派遣
- 7－10 個人海外旅行
- 7－12 国際紹介状

施行細則

- 7－12－1 国際紹介状の申請
- 7－12－2 受給者の義務
- 7－8－3 帰国後の報告

承認：2025年 9月6日 教育推進本部会合承認
10月4日 理事会承認
施行：2025年11月1日

第8章 指導者養成

施行細則

- 8－3－10 訓練機関（集合訓練）の指導要員の資格と選任

承認：2025年 9月6日 教育推進本部会合承認
10月4日 理事会承認
施行：2026年 4月1日

第9章 制服及び旗 関連

施行細則

- 9－4－1 指導者の正装

承認：2025年 9月6日 教育推進本部会合承認
10月4日 理事会承認
施行：2025年10月4日

以 上

本件についてのお問い合わせ：総務担当

電話：03-64913-6262 Eメール：soumu@scout.or.jp

教育規程の改正

施行細則 第7章 教育の方法 関連
——— 信仰奨励章に関する基準 ——— 7-6-1 信仰奨励章の取得要件
第7章 教育の方法 (上記に伴う進級課目の改正)
——— ボーイスカウトの進級課目 ——— 7-54 初級 7-55 2級 7-56 1級

2025年 9月 7日 教育推進本部会合承認

2025年10月 4日 第3回理事会承認

2026年 4月 1日 施行

改正理由：次のようなことから、取得が難しくなっているとの意見に基づき、取得要件の表記や表現を見直した。

- ①少ないスカウトと指導者で構成されている団でも取得できるように隊集会、班集会、班活動など限定される表記を改めた。
- ②スカウトタウン・サービスの内容の自分のできる役割、主要な役割等、わかりにくい表現が多いため改めた。
- ③宗教または明確な信仰をもつことの意味を、難しく捉えられるため、取得しやすい表記に改めた。

教育規程施行細則 第7章 教育の方法 関連 信仰奨励章の取得要件

条文番号	現行	条文番号	改正	備考
信仰奨励章 の取得要件 7-6-1	<p>信仰奨励章の取得要件は次のとおりとする。</p> <p>(1) 初級以上のボーイスカウト、またはベンチャースカウトであること。</p> <p>(2) <u>隊集会やキャンプ、ハイキング等でスカウトタウン・サービスに参加する。</u> (初級課目 5. 信仰奨励と共通)</p> <p>(3) スカウトタウン・サービスで、<u>自分ができる役割を果たし、「ちかい」と「おきて」を日常で実践したこと、感じたことを発表する。</u> (2級課目 5. 信仰奨励と共通)</p> <p>(4) <u>隊集会やキャンプ、ハイキングでのスカウトタウン・サービスで主要な役割を果たす。</u> (1級課目 5. 信仰奨励と共通)</p> <p>(5) 「アンノウンスカウト」の逸話を調べ、適切な表現形式（劇、紙芝居など）で隊の仲間や他の人々に伝え、自分の「日日の善行」の実践のようすについて話す。</p> <p>(6) <u>班で年間を通じて行える奉仕活動を考え、隊長の指導のもとに実施する。</u></p> <p>(7) <u>自分の家の宗教（派）か、興味を持った宗教（派）の宗教儀礼、宗教行事、またはスカウトタウン・サービスに参加する。</u></p> <p>(8) 自分の家の宗教（派）か、興味を持った宗教（派）の教導職から信仰や宗教について話を聞く。</p> <p>(9) B-Pのラストメッセージを読んで、<u>班集会</u>で話し合う。</p>	信仰奨励章 の取得要件 7-6-1	<p>信仰奨励章の取得要件は次のとおりとする。</p> <p>(1) 初級以上のボーイスカウト、またはベンチャースカウトであること。</p> <p>(2) <u>隊や班の活動の中で</u>スカウトタウン・サービスに参加する。 (初級課目 5. 信仰奨励と共通)</p> <p>(3) スカウトタウン・サービスで、<u>「ちかい」と「おきて」を日常で実践したことや、感じたことを発表する。</u> (2級課目 5. 信仰奨励と共通)</p> <p>(4) <u>スカウトタウン・サービスを行なうにあたって、実施内容と手順を考える。</u> (1級課目 5. 信仰奨励と共通)</p> <p>(5) 「アンノウンスカウト」の逸話を調べ、適切な表現形式（劇、紙芝居など）で隊の仲間や他の人々に伝え、自分の「日日の善行」の実践のようすについて話す。</p> <p>(6) <u>隊や班で行える奉仕活動を考え、隊長の指導のもとに実施する。または、要請のあった奉仕活動に積極的に参加する。</u></p> <p>(7) <u>自分の家の宗教（派）か、興味を持った宗教（派）の宗教儀礼、宗教行事を知る。可能であれば参加する。</u></p> <p>(8) 自分の家の宗教（派）か、興味を持った宗教（派）の教導職から信仰や宗教について話を聞く。</p> <p>(9) B-Pのラストメッセージを読んで、<u>隊や班</u>で話し合う。</p>	

教育規程 第7章 教育の方法 ボーイスカウトの進級課目

条文番号	現行	条文番号	改正	備考
初級 7-54	5 信仰奨励 (1) <u>隊集会やキャンプ、ハイキング等でスカウトOWN・サービスに参加する。</u>	初級 7-54	5 信仰奨励 (1) <u>隊や班の活動の中で</u> スカウトOWN・サービスに参加する。	
2級 7-55	5 信仰奨励 (1) <u>スカウトOWN・サービスで、自分ができるところを果し、「ちかい」と「おきて」を日常で実践したこと、感じたことを発表する。</u>	2級 7-55	5 信仰奨励 (1) スカウトOWN・サービスで、「 <u>ちかい</u> 」と「 <u>おきて</u> 」を日常で実践したことや、感じたことを発表する。	
1級 7-56	5 信仰奨励 (1) <u>隊集会やキャンプ、ハイキングでのスカウトOWN・サービスで主要な役割を果たす。</u>	1級 7-56	5 信仰奨励 (1) <u>スカウトOWN・サービスを行なうにあたって、実施内容と手順を考える。</u>	

教育規程および施行細則（スカウトの海外渡航に関する基準）の改正

第7章 教育の方法

本則

- 7－8 海外渡航
- 7－9 海外派遣
- 7－10 個人海外旅行
- 7－12 国際紹介状

施行細則

- 7－12－1 国際紹介状の申請
- 7－12－2 受給者の義務
- 7－8－3 帰国後の報告

2025年 9月6日教育推進本部会合承認

10月4日理事会承認

11月1日施行

教育規程改正

条文番号	現行	条文番号	改正案	
7-8 海外渡航	<p>海外渡航は、加盟員が国際親善を通して国際理解を深めることを基本とする。</p> <p>②本連盟に加盟するスカウト及び指導者の海外渡航は、<u>海外派遣と個人海外旅行とする。</u></p> <p>③ 海外渡航に関する細部は、別に定める。</p>	7-8 海外渡航	<p>海外渡航は、加盟員が国際親善を通して国際理解を深めることを基本とする。</p> <p>②本連盟に加盟するスカウト及び指導者の海外渡航は、日本連盟海外派遣、県連盟・地区・団による海外派遣（または海外旅行）および個人海外旅行とする。</p> <p>③ 海外渡航に関する細部は、別に定める。</p>	一部修正
7-9 海外派遣	<p>海外派遣は、海外で開催される次に掲げるものとし、<u>原則として相手国連盟の招待又は承認を受けたものとする。</u></p> <p>(1) 世界スカウトジャンボリー、世界スカウト会議等の世界的な行事</p> <p>(2) <u>地域スカウトジャンボリー、地域スカウト会議等の地域的な行事</u></p> <p>(3) 世界スカウト機構によって公認された国際的な行事</p> <p>(4) 世界スカウト機構に加盟する相手国連盟が主催又は公認する行事</p> <p>(5) <u>国際活動（国際体験）を主目的とする個人又はグループによる海外で行うスカウトプログラム</u></p> <p>(6) <u>姉妹都市関係等特別な友好関係にあるスカウト組織等との交換</u></p> <p>(7) その他本連盟が特に認めた行事等</p> <p>② 海外派遣は、すべて総コミッショナーまたは国際コミッショナーの承認を受けなければならない。</p>	7-9 海外派遣	<p>海外派遣は、海外で開催される次に掲げるものとし、原則として相手国連盟の招待又は本連盟の承認を受けたものとする。</p> <p>(1) 世界スカウトジャンボリー、世界スカウト会議等の世界的な行事</p> <p>(2) アジア太平洋地域スカウトジャンボリー、同地域スカウト会議等の地域的な行事</p> <p>(3) 世界スカウト機構によって公認された国際的な行事</p> <p>(4) 世界スカウト機構に加盟する相手国連盟が主催又は公認する行事</p> <p>(5) 県連盟・地区が主催するスカウトによる国際交流活動を主目的とするグループによる派遣事業</p> <p>(6) 姉妹都市関係等特別な友好関係にあるスカウト組織等との交換</p> <p>(6) その他本連盟が特に認めた行事等</p> <p>② 海外派遣は、すべて総コミッショナーまたは国際コミッショナーの承認を受けなければならない。</p>	一部修正
		7-10 海外旅行	<p>海外旅行は、次に掲げるものとし、原則として日本連盟の承認を受ける必要は無い。</p> <p>(1) 国際親善を主目的とする団または任意のグループによる渡航</p> <p>(2) 渡航先でスカウト活動の予定がなく、見学・研修を主目的とする任意のグループによる渡航</p>	新設
7-10 個人海外旅行	<p><u>個人海外旅行は、スカウト関係以外の目的で海外に渡航し、外国スカウト関係施設等の訪問又は外国スカウトとの交流を行うこととする。</u></p> <p>② <u>個人海外旅行において、外国スカウトとの交流を希望する場合には、本人の申請により、本連盟は国際紹介状を発給する。</u></p>	7-10 個人海外旅行	<p>スカウト関係以外の目的による渡航や、外国スカウトとの個人的な交流を行う場合は、個人海外旅行とする。</p> <p>② 個人海外旅行において、外国スカウトとの交流を希望する場合には、本人の申請により、本連盟は国際紹介状を発給する。</p>	修正 削除

条文番号	現行	条文番号	改正案	
7-11 外国スカウト受入		7-11 11 ¹² 外国スカウト受入	(変更なし)	条文番号修正
<u>7-11 国際紹介状</u>	<u>国際紹介状に関する細部は、別に定める。</u>	7-11 国際紹介状	(削除)	世界スカウト機構の発行が終了したため

教育規程 施行細則改正 ー国際紹介状ー

条文番号	現行	条文番号	改正案	
7-12-1 国際紹介状 の申請	国際紹介状の受給を希望する者は、所定の書式による申請書を県連盟をととして本連盟に提出しなければならない。	7-12-1 国際紹介状 の申請	(削除)	
7-12-2 受給者の義務	国際紹介状の受給者は、国際紹介状に記載された事項を守り、スカウトの国際的友情の高揚につとめるようにする。特に、訪問国連盟または最寄り地域のスカウト組織の意向にそった交流を行うことが大切である。また、次に掲げる事項については、本連盟の承認を受けなければならない。 (1) 制服の着用 (2) 訪問地でのスカウト大会等への参加 (3) 訪問地のスカウト連盟への通信 (4) 在外公館への通信	7-12-2 受給者の義務	(削除)	
7-8-3 帰国後の報告	受給者は、スカウト関係の交流を行った場合、その報告書を帰国後すみやかに、本連盟に送付しなければならない。	7-8-3 帰国後の報告	(削除)	

教育規程および施行細則（訓練機関）の改正

第8章 指導者養成

施行細則

8-3-10 訓練機関（集合訓練）の指導要員の資格と選任

2025年	9月	6日	教育推進本部会合承認
	10月	4日	理事会承認
2026年	4月	1日	施行

改正理由：コミッショナーベーシックトレーニング、及びコミッショナー任務別研修の指導要員の資格は教育規程 8-16（日本連盟トレーニングチーム）第 2 項に基づき、指導者訓練の企画、実施、運営法等を習得したトレーナーで担当することに変更するものである。

教育規程改正

条文番号	改正前	条文番号	改正後	備考
8-3-10 訓練機関（集合訓練）の指導要員の資格と選任	<p>【指導要員の資格】</p> <p>主任講師、所長、コースディレクター：コミッショナー、リーダートレーナー</p> <p>その他の指導要員：コミッショナー、リーダートレーナー、副リーダートレーナー</p>		<p>【指導要員の資格】</p> <p>主任講師、所長、コースディレクター：コミッショナー、リーダートレーナー</p> <p>その他の指導要員：コミッショナー、リーダートレーナー、副リーダートレーナー</p>	

以上

教育規程および施行細則（指導者の正装）の改正

第 9 章 制服及び旗 関連

施行細則

9－4－1 指導者の正装

2 0 2 5 年 9 月 6 日 教育推進本部会合承認

1 0 月 4 日 理事会承認

1 0 月 4 日 施行

改正理由：ボーイスカウトエンタープライズで「ウール混タイプのズボン」の供給が不可能となったことにより、ズボンの素材表記を削除し、「スラックスタイプのズボン」に改める。

教育規程改正

条文番号	改正前	条文番号	改正後	備考
9-4-1 指導者の正装	<ul style="list-style-type: none"> ズボンはウール混タイプおよびブッシュパンツタイプの長ズボン、および半ズボンとキュロットも着用することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ズボンはスラックスタイプおよびブッシュパンツタイプの長ズボン、および半ズボンとキュロットも着用することができる。 	ズボンの素材表記を削除し、スラックスタイプのズボンと称する

以上

ボーイスカウト都道府県連盟

理 事 長 各位
県コミッショナー 各位

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

26WSJ 派遣実行委員長 出 田 行 徳

**2027 年 第 26 回世界スカウトジャンボリー（26WSJ）派遣
事前希望調査について（お願い）**

標記に関しまして、2027（令和 9 年）7 月 30 日（金）から 8 月 8 日（日）までポーランド・グダニスク市郊外で第 26 回世界スカウトジャンボリー（26WSJ）が開催されます。この度、開催国であるポーランドスカウトアンドガイド連盟から準備状況が示され、2025 年 11 月に派遣規模を回答し、2026 年 2 月から大会参加費を予納金として段階的に支払うことが示されました。

派遣員の募集規模と応募内容は派遣実行委員会で今後協議を行います。予め都道府県連盟のご希望を伺いたく、添付の回答用紙にて 11 月 14 日（金） までに返信くださるようお願い申し上げます。

なお、本調査にあたっては、各ブロック推薦の当派遣実行委員会委員により調整ととりまとめを行うことといたしますので、以下の委員の所属県連盟様におかれましては回答の提出窓口としてお引き受けいただきたく、よろしくお願いいたします。

記

添付文書：

事前希望調査回答用紙（2025 年 11 月 14 日までに実行委員所属県連盟へ返信）

派遣実行委員：

北海道・東北ブロック	（調整中）
関東ブロック	大川由明（群馬県連盟）
中部ブロック	上 條 猛（静岡県連盟）
近畿ブロック	菅沼宏之（大阪連盟）
中国・四国ブロック	高石真由美（愛媛県連盟）
九州・沖縄ブロック	齋藤 謙（宮崎連盟）

参考：

1. この事前調査は、ご希望通りに決定するものではありませんので、ご理解をお願いいたします。なお、この事前調査により、大会参加枠が予定され、2026 年 2 月から予納金を支払う必要がありますので、誠に恐縮ですが確度の高い調査をお願いいたします。
2. 大会側が示す参加対象スカウトの年齢枠は **2009 年 7 月 30 日から 2013 年 7 月 30 日の間**に生まれた 14 歳から 17 歳までの者、国際サービスチーム員（IST）は参加スカウトの対象年齢を超えた者（2009 年 3 月 30 日以前に生まれた者）と示されていますが、その他の要件については、日本連盟教育規程に準じます。
3. なお、今回の参加費用の具体的な内容につきましては今後の実行委員会で策定して参りますが、今回はスカウトの大会参加費が約 27 万円（ポーランド現地通貨で 6,400PLN（ズロチ））と発表されており、概算で、これに現地滞在費 4 万円から 6 万円程度、渡航費約 40 万円（航空会社の平均的な往復割引料金）、雑費（準備訓練・支給品など）10 万円程度、および共通経費 4 万円程度を合わせて約 87 万円から約 90 万円近くの負担が見込まれます。

日連発第25-614号
2025年10月27日

ボーイスカウト都道府県連盟
事務局長各位

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
ファンドレイジング委員会
委員長 井 上 義 雄

「地域連携セミナー」の開催について

平素より日本連盟の各種施策へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

各県連盟の皆さまにおかれまして、県連盟・地区・各団での事業にご尽力をいただいていることと存じます。現在日本社会において子どもたちの取り巻く環境が変化し、貧困の蔓延デジタル化など、社会的課題が多く存在しています。

日本連盟・ファンドレイジング委員会では今回、自団体の価値を知ってもらい、地域と関わり連携していくためのポイントやノウハウを参加者と交流する時間を持ちながら、地域と連携することの意味や重要性についてわかりやすくオンラインセミナーを開催いたします。

つきましては、貴連盟内の各地区、各団にご案内いただき、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

送付物:地域に役立つスカウト活動をめざして「地域連携のススメ」開催概要

地域に役立つスカウト活動をめざして「地域連携のススメ」開催概要

主催：公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
運営：ファンドレイジング委員会

- 開催日時：2025年11月27日(木)19時30分～20時30分(※事後に講師を交えて交流あり:最大30分)
 - 開催方法：オンライン(Zoom使用予定) 申込が必要
 - 講師：宮下真美(ファンドレイジング委員会・委員)
 - 講師：工藤達也(ファンドレイジング委員会・委員)
 - 内容：世界最大級の青少年活動であるボーイスカウト。日本社会の中で、子どもたちの取り巻く環境が変化し、貧困の蔓延やデジタル化など、看過できない社会的課題が数多く存在しています。一人でも多くの青少年にスカウト活動のもつ素晴らしい価値を体験する機会を提供しなければと思っています。今回のセミナーでは、自団体の価値を知ってもらい、地域と連携していくためには、何が必要で、実施に当たってのポイント、そして事後の報告など具体的なノウハウを参加者に知ってもらい、現場で汗する加盟員と「本気の」ファンドレイジング委員会委員が直接、交流する機会を経て、社会に貢献するスカウト活動を実現することを目指して、積極的に開催いたします。
- ※開催当日は、終了後、希望者に対して講師を交えてのフリートークの時間を行います(最大30分)
- セッションの目標：参加者は、このセッション修了後、次のことを達成できる
 1. ファンドレイジング(FR)委員会の動きを知り、自らの現場に応じて活用できる
 2. 地域連携の現状を知る
 3. 社会との連携の重要性を再認識する
 - 対象：各県連盟・地区・団の助成金など・資金調達担当者、今年度加盟登録のある指導者
 - 応募方法：下記のフォームより申し込みください
 - 募集締切：2025年11月20日(木)
 - 応募方法：以下のフォーム、またはQRコードより申込

<https://forms.gle/JS4VgSMPM8hZdLnu9>



以上

本件についてのお問い合わせ
公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 事務局 ファンドレイジング担当
電話：03-6913-6262 メール：bokin@scout.or.jp

ボーイスカウト都道府県連盟
理 事 長 各 位
県コミッショナー 各 位

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
DEI 特別委員会委員長 田村 聡子

2025年度青年対象の DEI 推進フォーラム参加者およびファシリテーターの募集について

標記につきまして、本年5月8日に開催された第1回理事会において、「ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（以下 DEI と略す）宣言」が承認され、中長期計画基本施策Ⅱ-1-⑧およびⅢ-2-③の達成の一環として、DEI 理解推進のため、青年対象の DEI 推進フォーラムを下記の通り事業を実施いたします。

つきましては、貴連盟内の対象年代のスカウトおよび指導者にご周知いただき、各県連盟から1名の参加者の推薦いただきたくお願い申し上げます。

また、同時にファシリテーターについての推薦もよろしくお願いいたします。

記

<青年対象の DEI 推進フォーラム参加者>

【開催日】 2026 年 1 月 31 日（土）13:00-2 月 1 日（月）14:00

【場 所】 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

【対象者】 18 歳（ベンチャー可）～30歳未満の加盟員

【人 数】 県連盟から 1 名

【参加費】 7,000円（宿泊費、食事、記念品代含む）、会場までの交通費は自己負担

<青年対象の DEI 推進フォーラムファシリテーター>

【開催日】 2026 年 1 月 31 日（土）13:00-2 月 1 日（月）14:00

【場 所】 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

【対象者】 (1) DEI をより深めたい、オピニオンリーダーを目指す意欲のある 18 歳（ベンチャー不可）～30 歳未満の加盟員

(2) 2回予定しているオンライン勉強会に参加できること

第1回：12 月 12 日（金）20時～21 時

第2回：令和8年 1 月 16 日（金）20時～21 時

【具体的役割】グループ学習の支援（詳細はオンライン勉強会でお伝えいたします）

【募集人数】6人前後

【参加費】7,000円（宿泊費、食事、記念品代含む）、会場までの交通費は自己負担

【選 考】 田村委員長とオンライン面談（12 月上旬予定）の上、選考する

■申込み締め切り

参加者およびファシリテーターのいずれも 11 月 30 日が締め切りです。

※各県連盟は参加者1人とファシリテーター1人の計2人の申込みが可能ですが、ファシリテーター枠は人数制限があり選考の上決定しますので、希望に添えないことがあります。

■添付書類

・別紙参加申込書

以上

本件に関するお問い合わせ：事務局担当（大浦）

TEL:03-6913-6262 FAX:03-6913-6263 E-mail:komi@scout.or.jp

2025(令和7)年9月30日

ボーイスカウトの皆さま
ガールスカウトの皆さま

浄土真宗本願寺派
東京教区スカウト指導者会
会長 土山 和雅

2025年度 浄土真宗本願寺派 仏教章講習会開催のお知らせ

三指

秋涼の候、貴職におかれましては、益々ご清祥の御事と大慶に存じます。

さて、浄土真宗本願寺派では例年都内および教区内の数カ所で仏教章講習会を行い、仕上げとして東京教区仏教章修得研修会を2泊3日で開催しています。

本年も広く受講者を募り、東京教区スカウト指導者会主催の講習会を開催いたします。

つきましては、参加対象スカウトの皆さまへ下記の通りご案内申しあげます

弥栄

記

1. 日 時 【第1日目】2025(令和7)年11月30日(日) 14:00 ~ 18:00 瑞鳳
【第2日目】2025(令和7)年12月7日(日) 14:00 ~ 18:00 瑞鳳
【第3日目】2025(令和7)年12月14日(日) 14:00 ~ 18:00 瑞鳳
【補講日】2025(令和7)年12月21日(日) 14:00 ~ 18:00
瑞鳳・孔雀・鳳凰
【第4日目】2026(令和8)年1月18日(日) 14:00 ~ 16:00 瑞鳳
※欠席者には補講日に補習を行います
2. 会 場 築地本願寺 第二伝道会館 2階 瑞鳳
〒104-0045 東京都中央区築地3-15-1
電話 03-3541-1666(東京教区教務所)
3. 講 師 主任講師 高輪真澄
(教区スカウト指導者会副会長・善永寺住職・大田第4団団委員長)
4. 参加資格 本年度登録済みのベンチャー以上のスカウトで、仏教章を取得しようとする意欲があるスカウト。
ガールスカウトはレンジャー部門の取得意欲のあるスカウト
5. 受講費用 2,000円(教材費を含む、お念珠を授与)
※講習会第1日目にご持参ください。
6. 持ち物 筆記用具、雑巾(清掃奉仕用)1枚
7. 服 装 講習期間中は制服着用
8. 申込方法 申込書に記入のうえ、11月14日(金)までに郵送またはFAXにて東京教区スカウト指導者会担当者までお申し込みください。

【裏面もご清覧ください】

9. 注意事項 この講習会の参加だけでは仏教章の取得はできず、教区仏教章研修会への参加が絶対条件となります。申込書類につきましては別途送付いたします。

○東京教区仏教章修得研修会 日 時 12月25日(木)～27日(土)
会 場 静岡県三島市「箱根の里」
受講料 10,000 円(教材・宿泊費を含む)
※各地域団へのお声がけをよろしくお願いいたします

10. 問合せ・申込先 東京教区スカウト指導者会(担当：菊池・橋本)
〒 104-8405 東京都中央区築地 3-15-1
TEL：03-3541-1666
FAX：03-3546-1860
E-mail：tokyo-kyoumusyo@tsukijihongwanji.jp

※なお、他の会場でも講習会が行われます。日程等についてはそれぞれの会場にお問い合わせください。

仏教章講習会会場

① 江東会場

【ボーイスカウト東京連盟江東第3団団本部 浄土真宗本願寺派 浄楽寺】
電話：03-3681-5767

② 町田会場

【ボーイスカウト東京連盟町田第6団、ガールスカウト東京都第126団団本部
浄土真宗本願寺派 圓成寺】
電話：042-795-0181

③ 三島会場

【ボーイスカウト静岡連盟三島第3団、ガールスカウト静岡県第93団団本部
浄土真宗本願寺派 善教寺】
電話：055-972-3130

以 上

2025年度 仏教章講習会 日程表

	第1日目	第2日目	第3日目	補講日		第4日目
時間	11月30日(日)	12月7日(日)	12月14日(日)	12月21日(日)	時間	1月18日(日)
会場	瑞鳳	瑞鳳	瑞鳳	瑞鳳・孔雀・鳳凰	会場	瑞鳳
14:00	開会式(15) 事務連絡 挨拶 高輪	開会式(15) ・讃仏偈	開会式(15) ・重誓偈	補講 【講師：白川淳敬、山本 静淳、吉田真理子、 圓城知道(夕方)】	10:00	補講なし
14:15	礼拝作法(30) 【山本静淳】	仏教行事(30) 【一柳憲正】	真宗教義(60) 【高輪真澄】			
14:30						
14:45	音楽礼拝(30) 【山本静淳】	仏教教義(60) 【一柳憲正】				
15:00						
15:15	仏教章の意義と 宗派について(30) 【高輪真澄】		莊嚴法(30) 【山本静淳】			
15:30						
15:45	釈尊伝(60) 【高輪真澄】	宗祖伝(60) 【圓城知道】	スカウトOWN(30) 【高輪真澄】			
16:00						
16:15			教区仏教章修得研修会 について(30) 【吉田真理子】			
16:30						
16:45	勤行練習(60) [重誓偈・讃仏偈] 【山本静淳】	勤行練習(60) [正信偈] 【山本静淳】	勤行練習(60) [和讃・らいはいのうた・ 生活信条] 【山本静淳】		14:00	開会式(15) ・讃仏偈
17:00				14:15	まとめ(15) 【高輪真澄】	
17:15				14:30	申請書記入(30)	
17:30				15:00	閉会式	
17:45	奉仕活動	奉仕活動	奉仕活動			
18:00	事務連絡、解散	事務連絡、解散	事務連絡、解散		15:15	事務連絡、解散
本日 の 歌	真宗宗歌 恩徳讃 タベの歌 衆会	真宗宗歌 朝の歌 ちかいのうた 恩徳讃	真宗宗歌 さんだんのうた 恩徳讃			
配布 物	・スカウト聖典 ・スカウトハンドブック ・仏教章修得に向けたテキスト ・本願寺派仏教章にかかる家庭勤行実践記録・奉仕記録 ・念珠 ・仏教章修得研修会開催案内					

仏教章講習会申込書

2025年度 浄土真宗本願寺派仏教章講習会に参加したく、申し込みます。

【BS】

所属 _____ 連盟 _____ 地区 _____ 第 _____ 団 _____ 隊 _____ 級

【GS】

所属 _____ 都・県 第 _____ 団 _____ 部門

登録番号 _____

フガナ

氏名 _____ 学校名 _____

学年 _____ 年 生年月日 西暦 _____ 年 月 日 (男・女)

住所 〒 _____

TEL _____ - _____ - _____

(正確に)

宗教宗派 _____

指導者 氏名 _____

指導者連絡先 TEL _____ - _____ - _____

信仰奨励章の有無 あり・なし

◎問合せ・申込先 東京教区スカウト指導者会(担当:菊池・橋本)

〒104-8405 東京都中央区築地3-15-1

TEL 03-3541-1666 FAX 03-3546-1860

E-mail tokyo-kyoumusyo@tsukijihongwanji.jp

2025(令和7)年10月10日

ボーイスカウトの皆さま
ガールスカウトの皆さま

浄土真宗本願寺派
東京教区スカウト指導者会
会長 土山 和雅



令和7年度 浄土真宗本願寺派 仏教章修得研修会開催のお知らせ

三指

秋涼の候、貴職におかれましては、益々ご清祥の御事と大慶に存じます。

さて、東京教区スカウト指導者会では、仏教章修得スカウトとして社会に貢献できる人材の育成をはかるため、恒例の仏教章修得研修会を開催いたします。

つきましては、貴団のスカウトに参加方ご奨励をいただきますよう、下記の通りご案内申し上げます。

弥栄

記

1. 日 時 2025(令和7)年12月25日(木)～12月27日(土)
2. 会 場 三島市立箱根の里
3. 対 象 BS: VS 以上～25歳までの仏教章講習会を受講したスカウト
GS: RA 以上～25歳までの仏教章講習会を受講したスカウト
4. 日 程 裏面日程表をご参照ください。
5. 参 加 費 ￥10,000. - (研修会当日の受付にご持参ください)
6. 持 参 品 別紙持ち物表をご参照ください
7. 集 合 12月25日(木) 15:00 JR 三島駅南口【時間厳守】
8. 解 散 12月27日(土) 15:30頃
9. 申 込 別紙申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX もしくはご郵送にてお申込ください
10. 申込締切 12月1日(月) 必着
11. 注 意 点 仏教章講習会を受講していないスカウトは本研修会への参加はできません
12. 備 考 学業の関係上、日程に問題があるスカウトについては、個別に相談をお願いいたします
13. 連 絡 先 〒104-8405 東京都中央区築地3-15-1
東京教区スカウト指導者会事務局(担当: 菊池・橋本)
TEL: 03-3541-1666 FAX: 03-3546-1860
Mail: tokyo-kyoumusyo@tsukijihongwanji.jp

以 上

2025(令和7)年度 仏教章修得研修会 日程表

会場:三島市立箱根の里

時間	12月25日(木)	時間	12月26日(金)	時間	12月27日(土)
		6:00	起床	6:00	起床
			洗面・部屋の掃除		洗面・部屋の掃除
		6:30	晨朝勤行『正信偈』・スカウトOWN	6:30	晨朝勤行『正信偈』・スカウトOWN
		7:00	朝礼	7:00	朝礼
		7:45	朝食(STA・休憩)	7:45	朝食(STA・休憩)
		8:45	ちかい(やくそく)とおきて 【 土山和雅 】	9:00	
		9:30	スカウティングと宗教 【 高輪真澄 】		班別討議【 土山惟之 】
		10:15	ハイキング 【 藤澤直樹 】 ※前半30分ハイキング説明	11:00	まとめ【 土山和雅 】
			帰着後報告書作成	12:00	昼食
				12:45	清掃奉仕
				14:00	解隊式・閉会式
13:30	スタッフ集合			14:30	箱根の里現地解散
15:00	三島駅出発			15:00	三島駅着・解散
16:00	開会式・オリエンテーション	16:45	挨拶後・教務所長出発(送迎)		
17:00	結隊式・班編成・荷物点検 作法【 山本静淳 】 (音楽礼拝・スカウトOWN) 日没勤行『讃仏偈』		人の悩みと奉仕の心 【 中臣正範 】		
18:00	夕食(休憩)	17:30	日没勤行『讃仏偈』・スカウトOWN		
18:45		18:00	夕食(STA・休憩)		
	作法・勤行習礼 【山本静淳】 (終了後STA開始)	19:00	私と宗教<お釈迦さま> 【 白川淳敬 】		
20:00	班集会・隊集会・部屋割り	19:45	私と宗教<親鸞さま> 【 圓城知道 】		
20:45	就寝勤行『重誓偈』・スカウトOWN	20:30	就寝勤行『音楽礼拝』・スカウトOWN		
21:15	入浴・班長会議	21:00	入浴・班長会議		
21:45		21:30	仏教章取得者の会		
	フリートーク(STA)	22:00	隊集会・フリートーク(STA)		
23:00	消灯	23:00	消灯		

仏教章研修会 持ち物表	
	念珠
	スカウト聖典
	制服制帽
	仏教章修得に向けたテキスト
	健康保険証
	防寒具
	水筒
	筆記用具
	着替え
	上履き
	雨具(傘は不可)
	運動靴(ハイキングで履ける靴)
	コンパス(ガールスカウトは持っているスカウトのみ)
	ハバザック(リュックサック)※ハイキングにて使用できるもの
	時計(持っているスカウトのみ) ※時計機能のみのもの(アップルウォッチ・スマートウォッチ等、スマートフォンと連動している時計は不可)
	タオル
	その他必要と思うもの

※ドライヤーは使えないのでご注意ください。

※研修会に不必要なものは、期間中、事務局が預かります。

仏教章修得研修会申込書

2025年度浄土真宗本願寺派仏教章研修会に参加したく、申し込みます。

【BS】

所属 _____ 連盟 _____ 地区 _____ 第 _____ 団 _____ 隊 _____ 級

【GS】

所属 _____ 都・県 第 _____ 団 _____ 部門

登録番号 _____

フガナ

氏名 _____ 学校名 _____

学年 _____ 年 生年月日 西暦 _____ 年 月 日 (男・女)

住所 〒 _____

TEL _____ - _____ - _____

(正確に)

宗教宗派 _____

指導者 氏名 _____

指導者連絡先 TEL _____ - _____ - _____

信仰奨励章の有無 あり・なし

◎問合せ・申込先 東京教区スカウト指導者会(担当:菊池・橋本)
〒104-8405 東京都中央区築地3-15-1
TEL 03-3541-1666 FAX 03-3546-1860
E-mail tokyo-kyoumusyo@tsukijihongwanji.jp

2025 年10月27日

埼玉県連盟 団委員長 各位

ボーイスカウト埼玉県連盟
事務局長 角尾雅也
【公印省略】

2025年度作成 普及資料配布の追加希望について

標記の件、例年どおり下記の各団配付基礎数に対する追加希望について確認させていただきます。県連事務局での在庫は最低数の確保であり、新年度4月以降の追加要望について無償ではお応えできない場合があります。今回のお知らせで申込ください。なお、日本連盟で無償配付の数量調整される場合があります。ご理解の程、よろしくお願いします。

記

1. 団配付基礎数：

配付予定：12月中旬以降(予定)

配付資料：	(1)保護者向けリーフレット	150部
	(2)子ども向けリーフレット	150部
	(3)ポスター	5部
	(4)団体案内(A4版)	5部
	(5)Q&A 冊子(A4版)	15部
	(6)指導者用リクルーティング用リーフレット(A4版)	30部

※ 本年度配付基礎数を若干増やしました。

※ (1)、(2)、(3)、(4)は、昨年度版から軽微な修正になります。

(5)は、これまで日本連盟 HP からダウンロードして利用いただいていたものです。

【参照】

https://www.scout.or.jp/wp-content/themes/saj-hp/download/other/H30_qa.pdf

(6)は、新規に作成されるものです。

2. 追加希望の手続：

・各団で希望する追加の配付資料と部数を県連盟事務局までメール連絡をください。

・申込締切 11月9日(日) 必着

★ 県連盟事務局メールアドレス：office@saitama.scout.jp

以上



そなえよつねに
ボーイスカウト

埼玉県連盟関連事業カレンダー

2025年11月1日

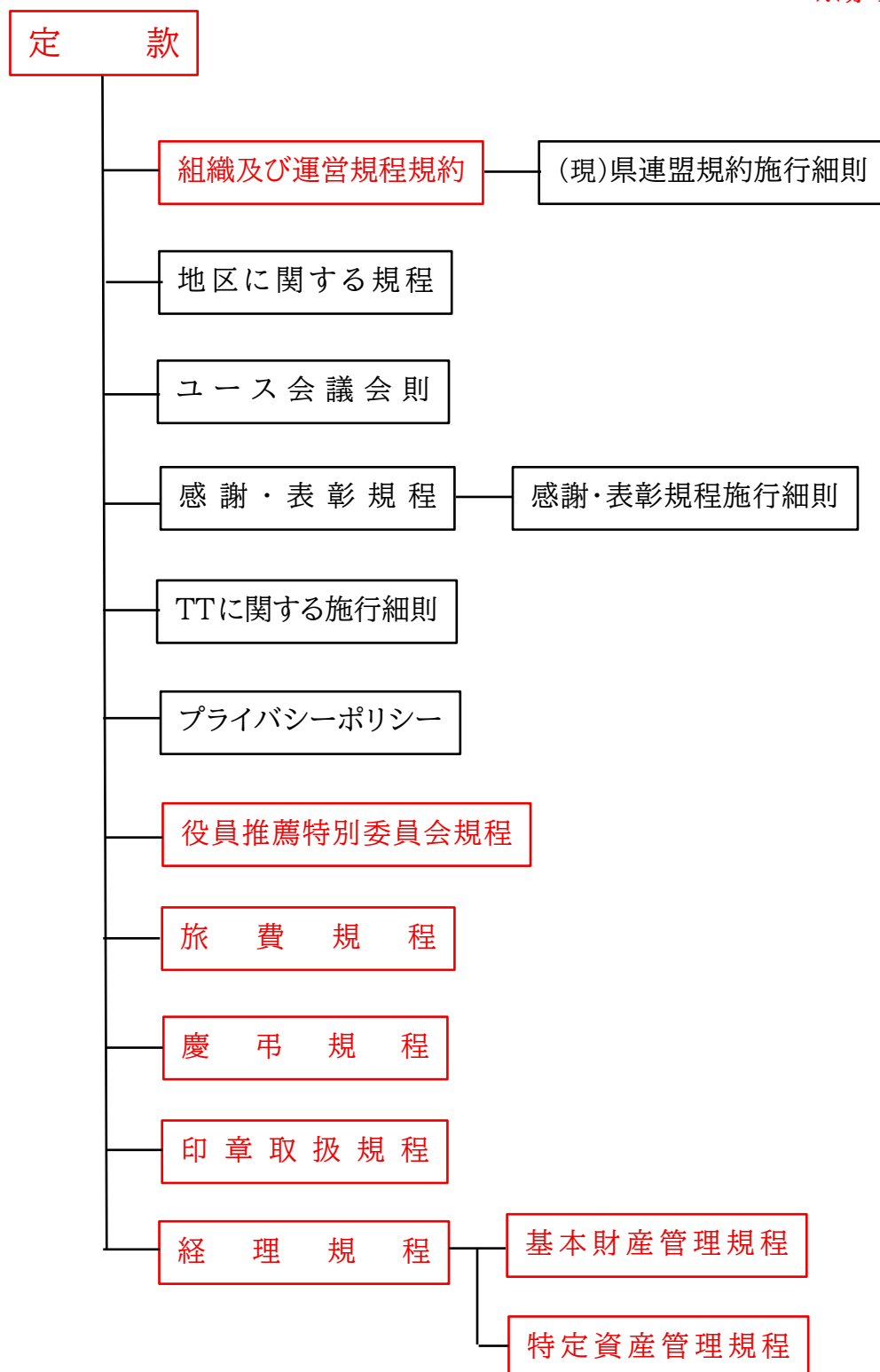
	2025年11月			2025年12月			2026年1月		
1	土	理事会 団委員研修所関東28期 (11/1~3)	販売	月		販売	木		休局
2	日	コミッショナー パーシクトレーニング @群馬 (11/1~3)	販売	火		休局	金		休局
3	月		休局	水		休局	土		休局
4	火		休局	木		休局	日		休局
5	水		休局	金		販売	月		販売
6	木		休局	土	理事会	販売	火		休局
7	金		販売	日		販売	水		休局
8	土	Saitama Youth Kickoff Camp 2025(11/8~9)	販売	月		販売	木		休局
9	日		休局	火		休局	金		販売
10	月		販売	水		休局	土	理事会	販売
11	火		休局	木		休局	日		休局
12	水		休局	金		販売	月		休局
13	木		休局	土	関東ブロック会議	販売	火		休局
14	金		販売	日		休局	水		休局
15	土	全国事務局長会議 (11/15~16)@神石高原町	販売	月		販売	木		休局
16	日	第6回ボーイスカウト講習会 (みなみ地区)	販売	火		休局	金		販売
17	月		販売	水		休局	土	全国コミッショナー会議 (1/17~18)@NYC	販売
18	火		休局	木		休局	日		販売
19	水		休局	金		販売	月		販売
20	木		休局	土		販売	火		休局
21	金		販売	日		販売	水		休局
22	土	コミッショナー任務別研修 (11/22~23) @群馬	販売	月		販売	木		休局
23	日		休局	火		休局	金		販売
24	月		休局	水		休局	土	日本連盟県連盟代表者会議 日本連盟賀詞交歓会	販売
25	火		休局	木		休局	日		休局
26	水		休局	金		販売	月		販売
27	木	委員長会同	休局	土	委員長会同	休局	火		休局
28	金		販売	日		休局	水		休局
29	土	県連盟臨時総会 組織活性化セミナー	販売	月		休局	木		休局
30	日		販売	火		休局	金		販売
31				水		休局	土	委員長会同	販売

一般社団法人日本ボーイスカウト埼玉県連盟 定款・規程等の体系図

◎定 款： 法人の基本的な情報を定めた規則集。組織運営をするために定めたもので最上位に位置する決まり事。

◎規約（規程）： 一般社団法人を運営するルール。定款の内容より細かな内容を定める。定款に従属する決まり事。

※赤字は新設および改定



法人化による事務局運営体制の変更(案)

2025.11.1
法人化準備委員会
委員長 斎藤政之

経費削減および業務効率化のために事務局の運営体制と業務・作業の変更、事務局業務関連規程の変更および新設を以下のとおり提案いたします。

◆事務局運営体制変更(案)

項目	現 行	変更案
休局日	火・水・木・第 2 および第 4 日・祝日	水・木・日・祝日
人員体制	事務局長(正職員)1人、パート職員 2 人	事務局長(業務委託)1人、パート職員 2 人

◎休局日：

開局日を月曜日、火曜日、金曜日、土曜日とし、日曜日を完全休みとする。日曜日はスカウト用品購入客、その他の訪問者も少ない。日曜日を完全休みとすること、火曜日はワンオペとすることで人件費が削減可能になる。但し、上進準備時期の3月は用品販売の繁忙期となるので日曜日を特別に開局する。

関東ブロック県連事務局で日曜日を開局しているのは群馬県連事務局のみ。但し、土曜日休み。

現行開局時間は変更しないが、事務局長はメール処理を中心に在宅作業を平日に行う。

◎人員体制(雇用形態)：

事務局長の雇用形態を業務委託契約に変更し、人件費を削減する。

◆事務局業務・作業変更(案)

項目	現 行	変更案
会計処理	手作業による伝票作成および仕訳作業	経理システム導入による会計処理
登録業務	県連分担金を団が都度送金	県連分担金を地区ごとに半期納入

◎会計処理：

システムの導入により事務局職員の処理時間の軽減および四半期・半期における会計状況が把握可能になる。銀行関連業務の送金、入金確認はネットバンキングを利用することにより銀行訪問時間を軽減させる。

◎登録業務：

登録業務を効率化するために県連分担金を2期(4月～8月・9月～3月)に分け、事務局が請求書を作成し地区が納入する。現行の追加登録県連承認は団からの県連分担金の入金確認後(銀行からのFAX確認)に行っているため、処理時間が長くなる場合がある。この変更により事務局の経理作業の軽減と団においては登録作業の迅速化および県連分担金振込手数料が削減できる。

◆事務局関連規程の改訂および新設(案)

項目	現 行	変更案
経理規程	現行一般会計、需品会計の内容	公益法人会計基準準拠の規程に変更
資産管理	基本金、積立金の管理規程なし	基本財産(基本金)管理規程、特定資産

規程		(積立金)管理規程の新設
印章取扱 規程	印章取扱の規程なし	印章の種類、使用等の基準を定め規程を 新設
旅費規程	簡易的な申し合わせ事項	旅費規程を新規に作成
役員推薦 特別委員 会規程	規程なし	役員推薦特別委員会規程の新設
慶弔規程	現行規程あり。但し、特例運用が多い。	事案に応じた規程に変更

◎経理規程：

「公益法人会計基準(内閣府公益認定委員会)」に原則準じた内容に経理規程を改訂する。

それに伴い、勘定科目を修正する。また、各委員会の予算管理を促進するために委員会に収入および支出記録を作成できるようにする。(別途、予算管理表を作成)

◎資産管理規程：

基本財産(基本金)、特定資産(積立金)を公正に管理および運用するために新設する。

◎印章取扱規程：

法人化により商業登記法の定めに印鑑証明の登録が必要となる。よって印章取扱に関する規程を新設する。

◎旅費規程：

現在の申し合わせ事項を反映させた旅費規程とする。

◎役員推薦特別委員会：

これまでの役員推薦特別委員会の状況を元に規程を新設する。

◎慶弔規程：

現在の慶弔規程を現状に合わせるように変更する。

以上

2025 年 10 月 総務企画委員会報告

開催日時 2025 年 10 月 24 日 (金) 19 時 00 分 ～ 21 時 00 分

レイボックホール6F 集会室5

役務	地区	氏名	所属	出欠
★	西部初雁	吉岡 克己	川越第2団	○
☆	東埼玉	中村 晃	久喜第1団	○
☆	むさし	木村 雅治	上尾第13団	○
委	さいたま南	青木 洋一	さいたま第209団	○
委	さいたま北	金子 修	さいたま第21団	×
委	ひがし	芳賀 勝義	草加第8団	×

役務	地区	氏名	所属	出欠
委	北武	木村 宏	熊谷第2団	○
委	西部初雁	安藤 和宏	川越第3団	○
委	奥武蔵	神谷 由香	飯能第3団	○
委	みなみ	斎藤 剛	川口第19団	○

★委員長、☆副委員長／○出席、△代理、×欠席

1、承認・依頼事項 なし

2、報告事項

(1) 2025年9月登録実績

資料1 2025 (R7) 年度 地区別加盟員数実績(日本連盟登録承認)

資料2 2025 (R7) 年度 地区別加盟員登録増減表(日本連盟登録承認)

資料3 2025 (R7) 年度 2025年9月 (単月) 追加登録状況 (日本連盟登録承認)

資料4 2025 (R7) 年度9月 (累計) 追加登録状況 (日本連盟登録承認)

資料5 2025 (R7) 年度9月登録・前年比_グラフ1

資料6 2025 (R7) 年度9月登録・前年比_グラフ2

(2) 広報「県連だより」年2回(9月・3月)発行

県連だより161号(9月発行予定)印刷部数5,500部(必要部数5,400部も印刷500部単位につき)

記事応募送付先 22soumukikaku@gmail.com (総務企画委員会メールアドレス)

必要情報: 記事提供者氏名、記事作成日、所属団体名、連絡先(メール&電話番号)

記事タイトル(記事の内容が一目で分かる表題)

文章100~400文字以内、写真データ4~10枚程度

* 誌面構成によって、記事数や掲載文字数、写真枚数を当委員会で調整させていただきます。

そのため、掲載できない場合がございますのでご了承ください。

* 提供いただく写真は、メールで送付ください。画質調整は行わずお送りください。

解像度150dpi~250dpi<1MB~2MB>程度(A4プリントしてもボケない画質)を目安にしてください。

* 写真データのご提供は、メールに写真データを添付してお送りください。(LINE等NG)

(3) フォトコンテスト

2022年度結果

応募総数 93 件 BVS 27 件 CS 66 件

投票総数 277 票 BVS 92 票 CS 185 票

2023年度結果

応募総数 91 件 BVS 44 件 CS 47 件

投票総数 206 票 BVS 101 票 CS 105 票

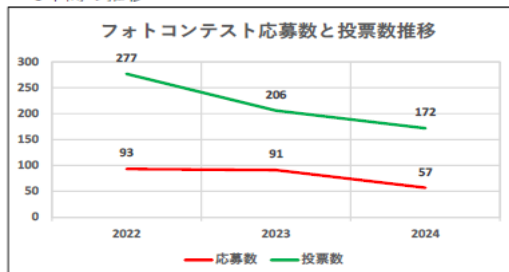
2024年度結果

応募総数 57 件 BVS 29 件 CS 28 件

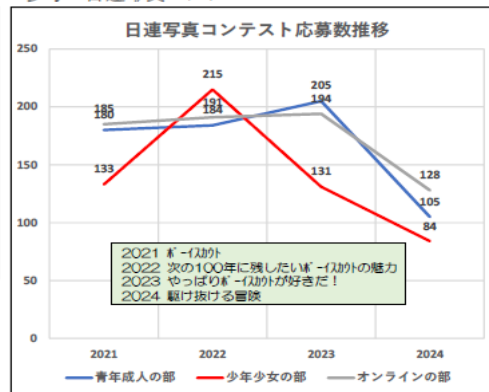
投票総数 258 票 BVS 83 票 CS 175 票

・ 応募数、投票数減少傾向につき来期からの実施内容見直し

<3年間の推移>



<参考: 日連写真コンテスト>



(4) 組織拡大特別顕彰（友情バッジ）

- 2022年度集計：2022/4/1～2023/3/31
- 2023年度集計：2023/4/1～2024/3/31
- 2024年度集計：2024/4/1～2025/3/31
- 2025年度集計：2025/4/1～2025/9/30

金色	5名	銀色	5名	銅色	55名	65
金色	0名	銀色	6名	銅色	38名	44
金色	0名	銀色	1名	銅色	49名	50
金色	1名	銀色	6名	銅色	33名	40

* 2025年度申請状況は別紙参照



申請：友情バッジ申請フォーム

<https://scout-saitama.jp/download/friendbadge>



申請ルール：「友情バッジ チラシ」

<https://qr.paps.jp/s2NvE>

(5) 日本連盟登録システム

- ・ 日本連盟への登録分担金振込口座は、2024/1/5より各団ごとの「口座番号」が設定されています。
ボーイスカウト日本連盟 みずほ銀行 二十三号支店 普通口座 ○○○○○○
* 日本連盟、県連盟口座の繰越金は、追加登録の際、繰越金が0円になるよう計算しお振込みください。

(6) 広報活動

- 「ワクワク自然体験あそび2025」助成金概要
県連助成金は1事業3,000円（*報告書提出後に振込）*申込人数、参加人数、参加後登録人数等
日連助成金は1事業2,000円（各団年2回まで助成、年度末の決算後振込）
参加者に付保する保険は県連にて一括加入（当日追加可、総人数で加入）
* 2024年度実績・2025年度実施状況は別紙参照
- 埼玉県連HP改修：現HP改修
6/19 HP制作会社へ改修提案依頼（7/20提案前提条件受領、予算内実施、JIMDOテンプレートで制作）
8/1 改修の方向性検討（一般閲覧者・加盟員向け配信情報整理、県連実施イベントの見せ方）
9/20 改修検討、見積依頼 10/17 見積受領、表示メニュー確認
- SNSツール立上げ：
県連公式LINE見送り（コストをかけLINEアカウント開設のメリット低、日連「Scout UP!」アプリの活用検討がコストを掛けず活用する方が賢明と判断）

(7) その他

- 2025年日本連盟「組織活性化戦略セミナー」 別紙案内参照
開催日時：11/29(土) 14時～16時半（受付13:30～）
場所：彩の国すこやかプラザ 2F セミナーホール北側 定員：80名 11/1時点申込 34名
※同日「埼玉県連盟臨時総会」開催
- 2025年日本連盟「組織拡充委員会」開催：第一回 7/5 12:30～14:30、第二回 8/18 19:30～21:00
第三回 10/25～26(1泊2日) 国立オリンピック記念青少年総合センター
次回委員会：2025年11月21日（金）予定

資料1 2025（R7）年度 地区別加盟員数実績(日本連盟登録承認)

2025年9月30日 現在

地区名	2025.3.23 実績	2025.4.1 継続(初期) 登録実績	増減	2025.9.30 実績	増減	前年 実績迄	達成率
みなみ	567	510	▲ 57	547	37	▲ 20	96%
さいたま南	603	551	▲ 52	575	24	▲ 28	95%
さいたま北	649	588	▲ 61	618	30	▲ 31	95%
むさし	428	382	▲ 46	406	24	▲ 22	95%
北武	398	341	▲ 57	362	21	▲ 36	91%
東埼玉	617	518	▲ 99	561	43	▲ 56	91%
ひがし	442	383	▲ 59	415	32	▲ 27	94%
西部初雁	734	649	▲ 85	690	41	▲ 44	94%
奥武蔵	400	352	▲ 48	389	37	▲ 11	97%
県 連	6	6	0	6	0	0	100%
合 計	4,844	4,280	▲ 564	4,569	289	▲ 275	94%

資料2 2025（R7）年度 地区別加盟員登録増減表(日本連盟登録承認)

2025年9月30日 現在

地区	基準日	団	隊	団委員	指導者	隊員	Sｸﾗﾌﾞ [※]	合計	B V S	C S	B S	V S	R S
	2025/03/23	7	30	55	103	409		567	86	144	105	34	40
みなみ	2025/09/30	7	30	52	103	392		547	66	145	100	32	49
	増減			▲ 3		▲ 17		▲ 20	▲ 20	1	▲ 5	▲ 2	9
	2025/03/23	12	55	85	143	375		603	57	122	95	57	44
さいたま南	2025/09/30	12	46	93	130	352		575	47	112	103	47	43
	増減		▲ 9	8	▲ 13	▲ 23		▲ 28	▲ 10	▲ 10	8	▲ 10	▲ 1
	2025/03/23	12	49	118	157	374		649	54	119	108	38	55
さいたま北	2025/09/30	12	49	108	146	364		618	50	107	106	41	60
	増減			▲ 10	▲ 11	▲ 10		▲ 31	▲ 4	▲ 12	▲ 2	3	5
	2025/03/23	10	42	54	101	273		428	51	99	87	20	16
むさし	2025/09/30	10	41	50	90	266		406	48	87	95	21	15
	増減		▲ 1	▲ 4	▲ 11	▲ 7		▲ 22	▲ 3	▲ 12	8	1	▲ 1
	2025/03/23	11	41	57	103	238		398	29	80	65	31	33
北武	2025/09/30	11	41	58	99	205		362	15	72	64	28	26
	増減			1	▲ 4	▲ 33		▲ 36	▲ 14	▲ 8	▲ 1	▲ 3	▲ 7
	2025/03/23	15	54	99	153	365		617	68	121	103	33	40
東埼玉	2025/09/30	12	48	91	131	339		561	50	100	121	29	39
	増減	▲ 3	▲ 6	▲ 8	▲ 22	▲ 26		▲ 56	▲ 18	▲ 21	18	▲ 4	▲ 1
	2025/03/23	14	59	69	107	266		442	33	103	82	22	26
ひがし	2025/09/30	13	48	68	95	252		415	45	87	78	22	20
	増減	▲ 1	▲ 11	▲ 1	▲ 12	▲ 14		▲ 27	12	▲ 16	▲ 4		▲ 6
	2025/03/23	12	56	79	174	481		734	99	154	112	51	65
西部初雁	2025/09/30	12	56	83	160	447		690	63	156	124	30	74
	増減			4	▲ 14	▲ 34		▲ 44	▲ 36	2	12	▲ 21	9
	2025/03/23	8	34	61	101	238		400	44	80	81	24	9
奥武蔵	2025/09/30	8	36	55	101	233		389	30	81	89	21	12
	増減		2	▲ 6		▲ 5		▲ 11	▲ 14	1	8	▲ 3	3
県 連	2025/03/23	1		6				6					
	2025/09/30	1		6				6					
	増減												
合 計	2025/03/23	101	420	683	1,142	3,019		4,844	521	1,022	838	310	328
	2025/09/30	97	395	664	1,055	2,850		4,569	414	947	880	271	338
	増減	▲ 4	▲ 25	▲ 19	▲ 87	▲ 169		▲ 275	▲ 107	▲ 75	42	▲ 39	10

資料3 2025（R7）年度 2025年9月（単月）追加登録状況（日本連盟登録承認）

地区名	団名	追加 登録 数 合計	団委員 育成会員		B V S				C S				B S				V S				R S			
					指導者		スカウト		指導者		スカウト		指導者		スカウト		指導者		スカウト		指導者		スカウト	
			継	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継	新
みなみ	蔵2	1		1																				
	川口1	2	-1				1				2													
	川口19	2								2														
	川口21	1																1						
	合計	6	-1	1			1			2		2						1						
さいたま南	さいたま211	2									2													
	さいたま218	3								3														
	さいたま219	2					1				1													
	合計	7					1			3		3												
さいたま北	さいたま1	1									1													
	さいたま21	1									1													
	合計	2									2													
むさし																								
	合計																							
北武																								
	合計																							
東埼玉	春日部7	1					1																	
	春日部9			1					-1															
	蓮田1	1																					1	
	合計	2		1			1		-1															1
ひがし	越谷6	1					1																	
	草加8	1				1		1	-1															
	合計	2				1		2	-1															
西部初雁	ふじみ野1	3								2														1
	川越3	2					2																	
	合計	5					2		2															1
奥武蔵	入間1	1				-7	1			3			3				-1						2	
	入間2	1								1														
	狭山1	1												1										
	所沢5	2					1			1														
	飯能3	2								1			1											
	合計	7				-7	2			3	3		3	2			-1						2	
県連																								
県連合計		31	-1	2		1	-7	9	-2	7	3	10		3	2							3	1	

資料4 2025 (R7) 年度 9 月 (累計) 追加登録状況 (日本連盟登録承認)

2025.9.30

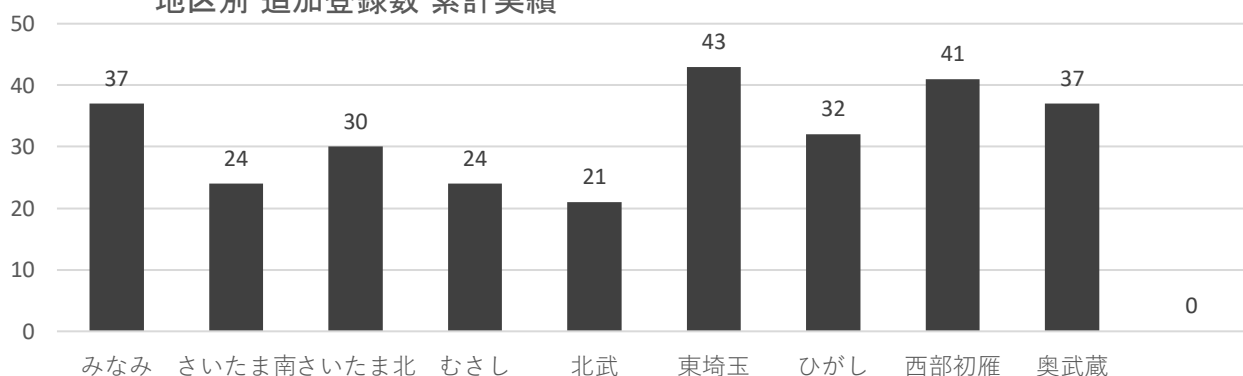
地区	部門	年初 登録数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	追加数 累計	合計
みなみ	BVS	39	3	15	5	3	0	1							27	66
	CS	139	2	2	0	0	0	2							6	145
	BS	100	0	0	0	0	0	0							0	100
	VS	31	0	0	0	0	0	1							1	32
	RS	49	0	0	0	0	0	0							0	49
	団委・隊指	152	1	0	0	0	0	2							3	155
	地区計	510	6	17	5	3	0	6	0	0	0	0	0	0	37	547
さいたま南	BVS	39	4	1	1	0	1	1							8	47
	CS	105	3	1	0	0	0	3							7	112
	BS	102	1	0	0	0	0	0							1	103
	VS	47	0	0	0	0	0	0							0	47
	RS	41	2	0	0	0	0	0							2	43
	団委・隊指	217	2	0	0	1	0	3							6	223
	地区計	551	12	2	1	1	1	7	0	0	0	0	0	0	24	575
さいたま北	BVS	34	2	3	9	2	0	2							18	52
	CS	98	4	0	1	1	1	0							7	105
	BS	105	1	0	0	0	0	0							1	106
	VS	41	0	0	0	0	0	0							0	41
	RS	59	1	0	0	0	0	0							1	60
	団委・隊指	251	1	0	2	0	0	0							3	254
	地区計	588	9	3	12	3	1	2	0	0	0	0	0	0	30	618
むさし	BVS	35	2	1	8	1	1	0							13	48
	CS	79	2	1	0	3	2	0							8	87
	BS	94	0	0	0	1	0	0							1	95
	VS	21	0	0	0	0	0	0							0	21
	RS	16	0	-1	0	0	0	0							-1	15
	団委・隊指	137	2	1	0	0	0	0							3	140
	地区計	382	6	2	8	5	3	0	0	0	0	0	0	0	24	406
北武	BVS	10	1	3	1	0	0	0							5	15
	CS	61	2	6	0	2	1	0							11	72
	BS	61	2	0	1	0	0	0							3	64
	VS	28	0	0	0	0	0	0							0	28
	RS	24	0	0	1	0	1	0							2	26
	団委・隊指	157	1	0	0	-1	0	0							0	157
	地区計	341	6	9	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	21	362
東埼玉	BVS	32	7	2	4	3	1	1							18	50
	CS	86	4	0	5	4	1	0							14	100
	BS	118	1	1	0	1	0	0							3	121
	VS	29	0	0	0	0	0	0							0	29
	RS	36	2	0	0	0	0	1							3	39
	団委・隊指	217	0	4	1	0	0	0							5	222
	地区計	518	14	7	10	8	2	2	0	0	0	0	0	0	43	561
ひがし	BVS	28	0	2	5	4	4	2							17	45
	CS	78	2	4	1	2	0	0							9	87
	BS	78	0	0	0	0	0	0							0	78
	VS	22	0	0	0	0	0	0							0	22
	RS	21	0	0	0	-1	0	0							-1	20
	団委・隊指	156	0	5	0	2	0	0							7	163
	地区計	383	2	11	6	7	4	2	0	0	0	0	0	0	32	415
西部初雁	BVS	43	7	2	2	4	3	2							20	63
	CS	148	4	1	5	0	-2	0							8	156
	BS	121	1	1	1	0	0	0							3	124
	VS	30	0	0	0	0	0	0							0	30
	RS	73	1	0	0	0	0	0							1	74
	団委・隊指	234	8	0	1	0	0	0							9	243
	地区計	649	21	4	9	4	1	2	0	0	0	0	0	0	41	690
奥武蔵	BVS	26	1	2	2	3	1	-5							4	30
	CS	66	1	4	1	3	0	6							15	81
	BS	80	0	1	1	2	0	5							9	89
	VS	22	0	0	0	0	0	-1							-1	21
	RS	10	0	0	0	0	0	2							2	12
	団委・隊指	148	6	1	0	0	1	0							8	156
	地区計	352	8	8	4	8	2	7	0	0	0	0	0	0	37	389
県連・役職員		6	0	0	0	0	0								0	6
県合計	BVS	286	27	31	37	20	11	2							128	414
	CS	860	24	19	13	15	3	13							87	947
	BS	859	6	3	3	4	0	5							21	880
	VS	271	0	0	0	0	0	0							0	271
	RS	329	6	-1	1	-1	1	3							9	338
	団委・隊指	1675	21	11	4	2	1	5							44	1719
	合計	4280	84	63	58	40	16	28	0	0	0	0	0	0	289	4569

資料5 2025（R7）年度 9月登録・前年比_グラフ1

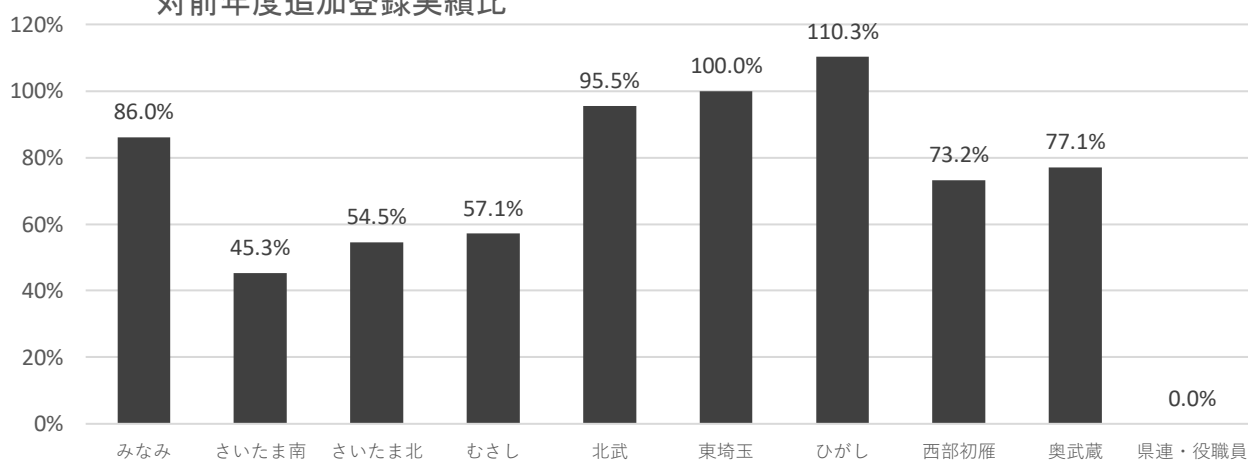
2025.9.30

地 区	追加登録 今年度累計	前年度 追加登録計	対前年度 %	当年度 初期登録数	対初期登録 %
みなみ	37	43	86.0%	510	7.3%
さいたま南	24	53	45.3%	551	4.4%
さいたま北	30	55	54.5%	588	5.1%
むさし	24	42	57.1%	382	6.3%
北武	21	22	95.5%	341	6.2%
東埼玉	43	43	100.0%	518	8.3%
ひがし	32	29	110.3%	383	8.4%
西部初雁	41	56	73.2%	649	6.3%
奥武蔵	37	48	77.1%	352	10.5%
県連・役職員	0	1	0.0%	6	0.0%
県合計	289	392	73.7%	4,280	6.8%

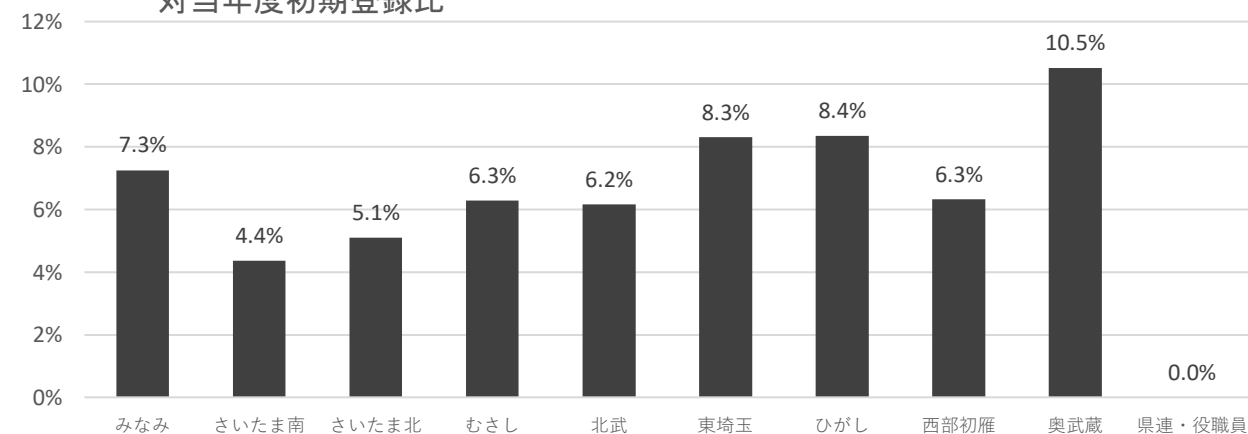
地区別 追加登録数 累計実績



対前年度追加登録実績比



対当年度初期登録比

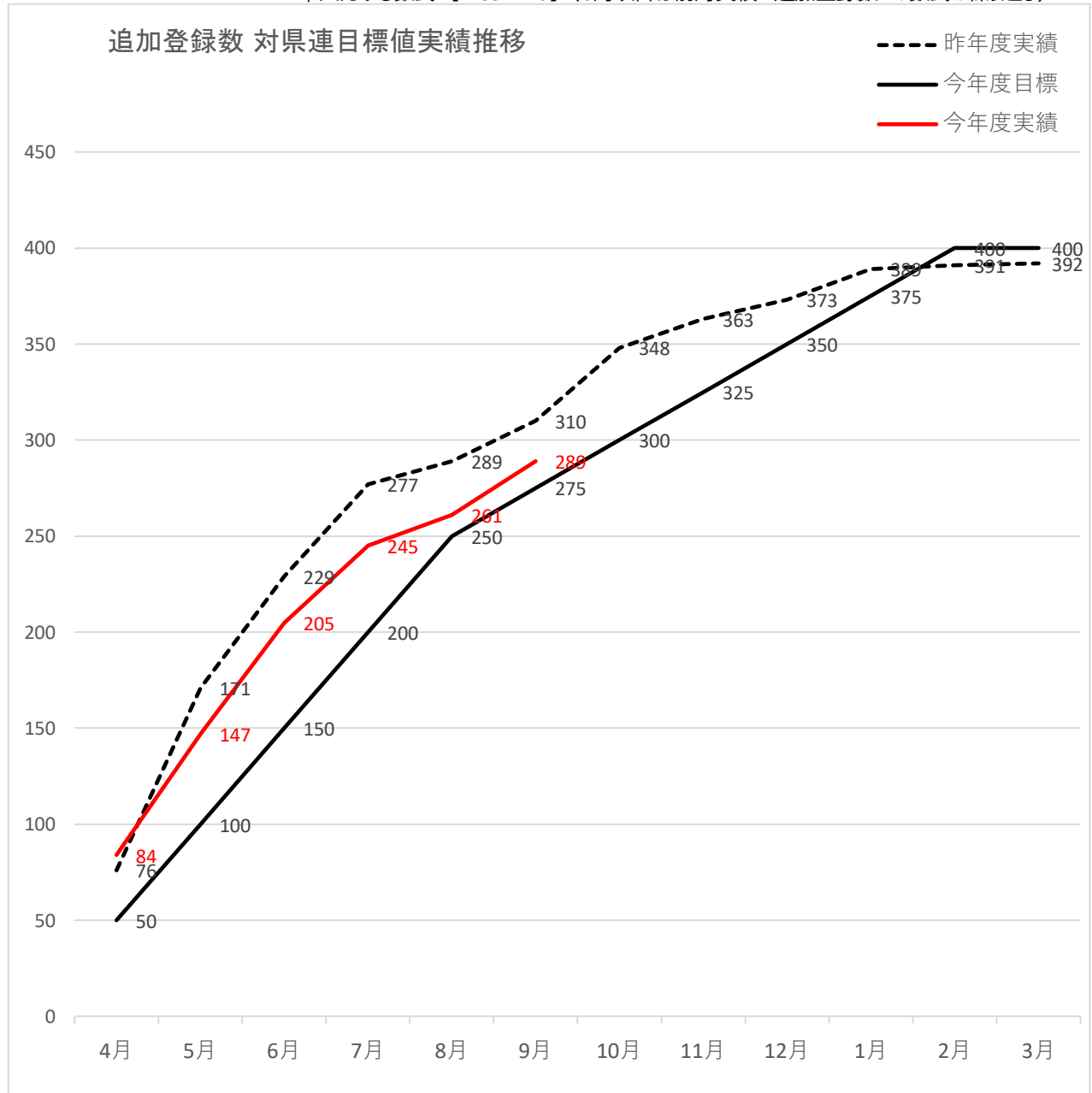


2025（R7）年度 9月登録・前年比_グラフ2

2025.9.30

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単月	昨年度実績	76	95	58	48	12	21	38	15	10	16	2	1
	今年度目標	50	50	50	50	50	25	25	25	25	25	25	
	今年度実績	84	63	58	40	16	28						
累積	昨年度実績	76	171	229	277	289	310	348	363	373	389	391	392
	今年度目標	50	100	150	200	250	275	300	325	350	375	400	400
	今年度実績	84	147	205	245	261	289						

↑入力する数式【=C9+D6】（6月以降は前月実績+追加登録数 の数式の繰り返し）



2025年10月31日 登録状況(速報値)

連盟	連盟加盟員			加盟員数の状況														
	地区数	団数	隊数	加盟員数	加盟員数の内訳												団委員	役職員
					スカウト数	スカウト数の内訳					指導者数	指導者数の内訳						
						ビーバー	カブ	ボーイ	ベンチャー	ローバー		ビーバー	カブ	ボーイ	ベンチャー	ローバー		
埼玉県	9	97	395	4,613	2,887	427	963	884	273	340	1,056	221	379	280	115	61	664	6

地区	地区加盟員		加盟員数の状況															
	団数	隊数	加盟員数	加盟員数の内訳														
				スカウト数	スカウト数の内訳					指導者数	指導者数の内訳					団委員	役職員	SC 会員数
					ビーバー	カブ	ボーイ	ベンチャー	ローバー		ビーバー	カブ	ボーイ	ベンチャー	ローバー			
みなみ	7	30	553	397	69	147	100	32	49	103	32	41	19	10	1	52	1	0
さいたま南	12	46	580	357	50	114	103	47	43	130	23	42	44	13	8	93	0	0
さいたま北	12	49	634	376	55	109	109	43	60	145	27	54	32	21	11	113	0	0
むさし	10	41	406	266	48	87	95	21	15	90	19	27	28	12	4	50	0	0
北武	11	41	365	208	14	76	64	28	26	98	15	36	30	12	5	59	0	0
東埼玉	12	48	564	341	51	101	121	29	39	132	23	39	48	15	7	91	0	0
ひがし	13	48	418	255	47	88	78	22	20	95	19	44	19	6	7	68	0	0
西部初雁	12	56	695	450	63	157	125	30	75	162	41	56	33	16	16	83	0	0
奥武蔵	8	36	393	237	30	84	89	21	13	101	22	40	27	10	2	55	0	0

2025年度 友情バッジ申請状況

2025年 9/30

申請日	申請地区	申請団	申請バッジ
2025/5/3	みなみ地区	川口第15団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/5/3	みなみ地区	川口第 1 5 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/5/26	みなみ地区	川口第 2 1 団	友情バッジ（銀色） これまでに3人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/6/12	みなみ地区	戸田第 1 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/4/20	さいたま南地区	さいたま第 2 0 4 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/4/20	さいたま南地区	さいたま第 2 0 4 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/4/20	さいたま南地区	さいたま第 2 0 4 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/4/20	さいたま南地区	さいたま第 2 0 4 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/4/20	さいたま南地区	さいたま第 2 0 4 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/4/13	さいたま北地区	さいたま第 9 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/4/13	さいたま北地区	さいたま11団	友情バッジ（銀色） これまでに3人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/4/13	さいたま北地区	さいたま第 1 0 4 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/5/1	さいたま北地区	さいたま第 9 団	友情バッジ（銀色） これまでに3人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/6/14	さいたま北地区	さいたま第 9 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/6/14	さいたま北地区	さいたま第 9 団	友情バッジ（銀色） これまでに3人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/4/23	むさし地区	鴻巣第2団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/7/1	むさし地区	鴻巣第 3 団	友情バッジ（銀色） これまでに3人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/9/22	むさし地区	鴻巣第2団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/5/6	北武地区	東松山第 1 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/5/6	北武地区	東松山第 1 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/5/25	東埼玉地区	久喜第 2 1 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/6/24	東埼玉地区	春日部第 9 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/6/24	東埼玉地区	春日部第 9 団	友情バッジ（銀色） これまでに3人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/6/24	東埼玉地区	春日部第 9 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/6/24	東埼玉地区	春日部第 9 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/7/2	東埼玉地区	春日部 7 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/7/2	東埼玉地区	春日部 7 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/7/20	東埼玉地区	春日部第 9 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/7/21	東埼玉地区	久喜第 2 1 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/6/28	ひがし地区	草加第 4 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/6/28	ひがし地区	草加第 4 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/9/23	ひがし地区	県連事務局メアド変更にて	友情バッジ（金色） これまでに5人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/6/22	西部初雁地区	三芳第1団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/5/21	奥武蔵地区	狭山第1団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/5/21	奥武蔵地区	狭山第1団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/5/27	奥武蔵地区	所沢第 1 団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/6/13	奥武蔵地区	狭山第1団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/7/19	奥武蔵地区	入間第 4 団	友情バッジ（銀色） これまでに3人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/8/4	奥武蔵地区	狭山第1団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。
2025/9/16	奥武蔵地区	狭山第1団	友情バッジ（銅色） 1人のスカウトを新規に入隊させた。

仲間が増えれば活動も楽しくなる！ 2025年組織活性化戦略セミナー



本事業は日本連盟の事業として開設いたします

日時： **2025年11月29日（土）開催**

受付：13:30～

/

開会：14:00～ 閉会：16:30

会場：『彩の国すこやかプラザ』2階 セミナーホール北側

〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷 4-2-65 [TEL:048-831-1550](tel:048-831-1550)

参加対象・定員： 団・隊指導者 **定員80名**

準備： 制服、筆記用具

テーマ： Theme1:「入団検討中の保護者に響き、入団後の保護者を巻き込むツボとは！」

日連組織拡充委員会 佐藤 之雄 副委員長

Theme2:「ボーイスカウトの認知度アップ！だれでもできる広報活動」

日連組織拡充委員会 杉尾 由加里 委員

Theme3:グループディスカッション「ビーバースカウトをどのように増やしていくか」

日連組織拡充委員会 光来出 忠司 委員

参加申込： 下記申込フォームより期限内に参加手を完了させてください

URL: <https://x.gd/SuGmV>



●申込期限： 11月22日（土）※定員になり次第、締め切らせていただきます

●お問合せ： 埼玉県連盟事務局（TEL:048-822-2463）



さいたまけんれんめい

埼玉県連盟 2025

カブスカウト
ビーバースカウト

いきいきフォトコンテスト

テーマ

「キミこそスターだ！」

ビーバースカウトは
とってもとっても
いいよ

これは！と思ったら撮ってみよう

グランプリ 準グランプリ

2024. CSグランプリ

2024. BVSグランプリ

入賞商品が
たくさん
あるよ！

しゃん なか
さらに！写真の中で
いちばんひか
一番光っていたキミには
しんさいんとくべつしょう
審査員特別賞！

参加賞として
缶バッジが
もらえる♪

応募はHPか
二次元コードからね！

応募
フォーム

埼玉県連盟ホームページ

「**フォトコンテスト**」で検索

<https://scout-saitama.jp>



<応募要項>

参加対象：埼玉県連盟に加盟するビーバースカウト・カブスカウト

応募作品：ファイル名「タイトル・氏名・団名・隊名」をデジタルファイルで提出
スカウト一人1枚まで・カブスカウトは組で1枚でも可
ファイル形式（JPEG推奨）、A4サイズでのプリントに支障のない画質

応募締切：2025年12月末まで

審査：2026年2月中旬にWEB上で実施、お一人様につき1票の投票による公開審査、
および審査員が被写体に対し選定する特別賞
（各賞ビーバー、カブそれぞれ1作品ずつ）

表彰：2026年県連総会にてビーバー、カブそれぞれ撮影者に対しグランプリ、
準グランプリ、被写体に対して贈られる審査員特別賞を表彰

- 応募上の諸注意：
- ・カブ隊は本人が撮影、ビーバー隊は本人または保護者が指導者が撮影した作品に限ります。
 - ・応募作品は2025年4月以降に撮影した未発表のものが対象です。
 - ・応募作品に肖像権を有する人物および建築物などが写っている場合は、応募に際し、権利者（未成年の場合はその保護者）の了承を得てください。
 - ・応募作品は返却いたしません。
 - ・電子データ（JPG）でご応募ください（紙での応募は受け付けておりません）。
 - ・応募作品は、埼玉県連盟での入賞発表のほか、埼玉県連盟のホームページ等で掲載させていただきます。
 - ・応募作品の著作権は作者に帰属しますが、応募作品についてはボーイスカウト埼玉県連盟が利用許諾を無償で受けるものとします。作品の応募をもって、作者はこれらに同意したものとみなします。

なにを
とろう
かな～

ワクワク自然体験あそび
埼玉県連盟 各地区申請・実施状況報告
令和7年度

2025. 10. 21

地区	エントリー	内終了	地区	エントリー	内終了
みなみ	1	1	東埼玉	7	6
さいたま南	7	6	ひがし	8	5
さいたま北	4	3	西部初雁	3	1
むさし	6	4	奥武蔵	1	1
北武	7	3	合計	44	30

令和6年度最終結果

地区	エントリー	内終了	地区	エントリー	内終了
みなみ	1	1	東埼玉	7	7
さいたま南	13	13	ひがし	4	4
さいたま北	7	7	西部初雁	3	3
むさし	10	10	奥武蔵	1	1
北武	9	9	合計	55	55

10月スカウト教育委員会

○開催日時 10月21日(火) 20:30～ 21:15 Web 開催

委員長	副委員長	副委員長	副委員長	地 区 名										ユース会議						
				みなみ	さいたま南		さいたま北	むさし	北武	東埼玉	ひがし	西部初雁	奥武蔵							
須田	佐藤	戸田	町田	織原	小林	井島	渡部	吉野	山口	市原	町田	片桐	岡	濱田	遠藤	竹内	水野	元木	小島	前原
○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	×	－	○	△	○	○	○	○	○	○	○

出席：○、欠席：×、通欠：△、代理：

【承認・依頼事項】

無し

【連絡・報告事項】

1. 連絡事項

- ・10月富士章面接 無し
- ・10月技能章審査員委嘱 無し
- ・11月富士章面接 さいたま北地区2名予定
- ・11月技能章審査員委嘱 無し

2. 申請状況 菊章 0名 隼章 1名 富士章 0名

章	地 区	団	氏 名	受 領	伝 達	認証番号
菊章						
隼章	奥武蔵地区	入間4団	友山 直洋	2025.10.31	2025.11.1	2025-10
富士章						

3. スカウトフォーラム

2025年1月19日(日) アフターフォーラム 県民活動総合センター

“ゴミ問題の解決と地域交流を盛んにするため「埼玉 GOMI 0 ポスターコンテスト」を2025年度に開催する”

10月26日(日) ポスター審査 総数38枚

小学生の部 最優秀賞 丸山泰成 優秀賞 佐藤康惺 山本悠月 郷間彬矢

中高校生の部 該当作品無し

大人の部 最優秀賞 塚本由里 優秀賞 町田はる美 町田若菜

アフターフォーラムアフター 11月1日(土)～3日(月・祝) 静岡県三島市

代表ベンチャースカウト むさし地区 上尾9団 塚本将広さん

10月15日事前集会(オンライン)出席

4. BSA-FEC 定例会議:毎月3週目水曜日 Web

「International Scouting-Japan,2025」 2025年10月3日(金)～5日(日) 多摩ヒルズ
スカウト47名 指導者31名 運搬3名 合計81名

さいたま北(さいたま8団)、北武(熊谷2団、秩父1団、鶴ヶ島1団) ひがし(越谷1団、越谷2団)
東埼玉(春日部9団)、西部初雁(志木1団、和光1団、川越10団)、奥武蔵(所沢1団、所沢5団)

国際部門サポートメンバー 以下の方に支援をいただいています

濱田さん(草加7団)、越智さん(さいたま1団)、原田さん(所沢1団)、
花井さん(志木1団)、東海林さん(和光1団)

5. ベンチャー大会2026

技能章ブース設置打診あり、詳細は後日打合せ

6. JOTA-JOTI「ジャパンプレミア2025」開催

・川越9団実施 坂戸2団参加

・さいたま南地区 地区野営場にて開催 14名参加

7. パインウッドダービー2025 埼玉県大会

・2026年2月1日(日) 所沢市こどもと福祉の未来館 申込締切 12月31日(水)

9月理事会資料配布済「参加案内」「運営委員募集案内」

8. その他

・プロジェクト発表会 2026年3月29日(日)開催(別紙)

・技能章考査員更新作業(2025年度任期満了)

10月末までに各委員宛てに地区データを送付

継続、非継続と、登録番号、連絡先等の確認後、1月20日定例会員会までに返送

・面接の手引き 年内予定で改定作業を進める

【次回会議】

11月18日(火) 20:30 ～ Web 開催予定

スカウト教育委員会 scout-education-committee@saitama.scout.jp

ベンチャースカウトプロジェクト発表会

ローバー/ユース年代プロジェクト発表会

団委員長 各位

VS、RS 隊長各位

スカウト教育委員会

「プロジェクト発表会」はベンチャースカウトや、ローバー/ユースが各々取り組んだプロジェクトの発表の場です。個人やチームで計画・実行したプロジェクトを埼玉県内のスカウトへ、その成果を発表してください。

ただ時間も限られているので、抽選した15～20の発表をお願いすることになります。より多くのスカウトや指導者が成果を御視聴いただき、今後のスカウト活動のヒント、さらにはベンチャー・ローバー活動への理解につながることを期待しております。

行事内容につきまして下記のとおりご案内いたします。

記

開催日時： 2026年3月29日(日) 16:00～

1) ベンチャー発表

2) ローバー/ユース発表

場 所： 発表はWeb会議

発表対象： ベンチャースカウト, ローバースカウト(同年代のユースを含む)

ベンチャー大会で発表するプロジェクトもエントリーOK

視聴対象： スカウト関係者（ボーイスカウトは上進の準備として視聴を奨励します）

参加申込： 右のQRコードより(クリックでもOK)

参加費： 無料

発表時間： 10分以内(2025年度プロジェクトに限る)

※各団で集合しての発表や、個人個人での発表でも良いので、

楽しんで発表できる環境づくりをお願いいたします



そ な え よ つ ね に
ボーイスカウト

成人支援委員会

1. 10月成人支援委員会 開催報告

今月は定例委員会の開催はありませんでした。

2. 承認を求める事項

ありません。

3. 連絡事項

- 埼玉ウッドバッジ・リユニオン 2025 の開催について
 日時：2025 年 10 月 4 日（土）18:00～20:00
 場所：レストラン・ペペロネ（埼玉県立近代美術館内）
 参加者：36 名

みなみ 3	さいたま南 8	さいたま北 9	むさし 4	北武 1
東埼玉 4	ひがし 1	西部初雁 4	奥武蔵 2	

詳細は別紙

- WB 研修所課程別研修埼玉第 13 回の開催について
 日程：2025 年 10 月 19 日（日）
 場所：プラザウエスト
 参加者：28 名

	BVS	CS	BS	VS	計
みなみ	1	2	1	2	6
さいたま南	1	2	1		4
さいたま北		2			2
むさし		1	2	1	4
北武				1	1
東埼玉	1	3	1		4
ひがし		1		1	2
西部初雁	1				1
奥武蔵	1	1			2
県外	1				1
計	6	12	5	5	28



● 「団委員研修所_関東第 28 期」の開設について

日程： 2025 年 11 月 1 日（土）～3 日（祝月）

場所： ポラスグループセミナーガーデン

参加：25 名

みなみ 1	さいたま南 4	さいたま北 2	むさし 4	北武 2
東埼玉 2	ひがし 0	西部初雁 0	奥武蔵 1	県外 10
県外)千葉 5/神奈川 1/東京 2/茨城 1				

● 2025 年度ボーイスカウト講習会の開催について

回	月日	曜	開設地区	会場
6	2025.11.16	日	みなみ	川口市立生涯学習プラザ予定
7	2026.2.8	日	ひがし	(越谷市中央市民会館予定)
8	2026.3.8	日	さいたま北	(さいたま市見沼グリーンセンター予定)
9	2026.3.8	日	北武	(未定)

4. 次回（11 月）委員会開催予定

2025 年 11 月 23 日（日）19 時 30 分から リモート開催

Saitama Wood Badge Reunion

ウッドバッジ・リユニオ 2025 実施報告



ウッドバッジ実修所修了者(Wood Badger)が一堂に集い、相互理解を深めると共に親睦を図り、新たな指導者への WB 実修所への参加促進、及び、スカウト運動の発展を目的に「ウッドバッジ・リユニオン 2025」を下記の通り開催しました。

当日は、あいにくの雨でしたが、思い出話やショートスピーチ「ウッドバッジの伝説」などで楽しいひと時を過ごすことができました。

概 要

日時:2025 年 10 月 4 日(土)18:00~20:00

場所:レストラン・ペペロネ(埼玉県立近代美術館内)

参加者:36 名

プログラム:◇ 開会挨拶 齋藤理事長

◇ 乾杯

◇ 歓談

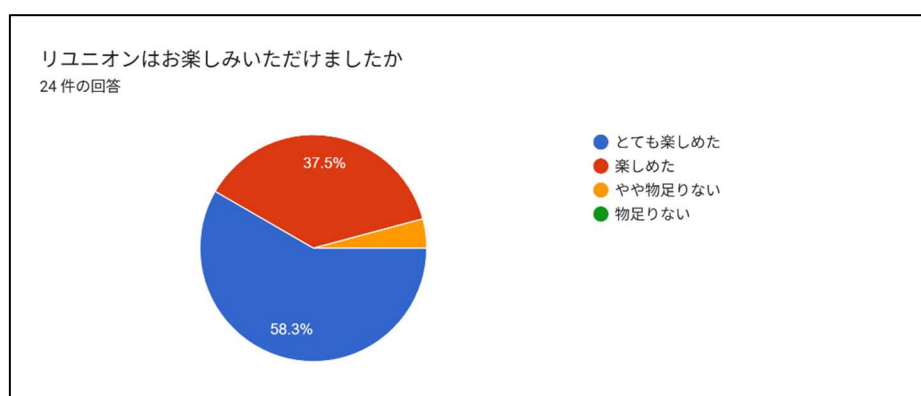
◇ ショートスピーチ「ウッドバッジの伝説」

◇ ゲーム「友達ビンゴ(参加者紹介)」

◇ 閉会挨拶



感想



主なコメント

- 普段顔を合わせる機会のない方もおられ、知る良い場となりました。
- 実際参加することで新たな繋がりを持てたり、自身の今後のキャリアについて考える機会となりました。
- 参加費の高さは気になります。若手の参加を期待するのであれば、6500 円程度が望ましく思われます。
- 普段、話ができない人たちと会話をする機会を持てたのが良かったです
- 「ショートスピーチ」は、このリユニオンでしが聞くことができない内容で興味深く聞くことができました。
- 記念品は良かった。
- 県内他地区の方々との交流ができ有意義な時間でした。ありがとうございました。
- 食事美味しく、楽しかった。もう少し時間があると交流がもっとできたかな。
- 久しぶりの人や初めての人達との楽しい時間をありがとうございました。



戦 略 本 部

◇防災キャラバン 会場・日程変更

開 催 会 場	開催日程	担当地区
イオンモール上尾	9 月 7 日 実施	むさし地区
イオンモール与野	9 月 7 日 実施	さいたま北地区
イオンモール春日部	11 月 8 日	東埼玉地区
イオンモール川口前川	11 月 9 日	みなみ地区

◇県連理事長・副理事長が県(行政)が展開している各種委員会組織に参加している
添付が参加会議体一覧

次回本部会議 ⇒ 11/26(水)19:30～

需品購入は県連で！

以上

ボーイスカウト埼玉県連盟 正副理事長 役務分担一覧

2025年11月1日現在

理事長・副理事長	埼玉県関係団体	役務	局・部	課	備考
斎藤 理事長	・公益財団法人 いきいき埼玉	評議員	県民生活部	共助社会づくり課	県活
	・公益財団法人 さいたま緑のトラスト協会	評議員	環境部	みどり自然課	
	・埼玉県生涯学習審議会	委員	市町村支援部	生涯学習推進課	学びの循環
	・埼玉県社会教育委員会議	委員	市町村支援部	生涯学習推進課	
	・第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会	実行委員	農林部	森づくり課	全国植樹祭推進担当
細井 副理事長	・一般社団法人 埼玉県校外教育協会	理事	市町村支援部	家庭地域連携課	
	・彩の国コミュニティ協議会	理事	県民生活部	共助社会づくり課	シラコバト賞
	・彩の国教育の日推進会議		市町村支援部	家庭地域連携課	教育ふれあい賞
山本 副理事長	・埼玉県青少年団体連絡協議会	委員	県民生活部	青少年課	
	・社会福祉法人 埼玉県共同募金会	評議員			赤い羽根募金
	・青少年育成埼玉県民会議	理事	県民生活部	青少年課	青少年功労賞
	・公益社団法人 埼玉県緑化推進委員会	理事	農林部	森づくり課	緑の募金
宇田川 副理事長	・彩の国さいたま魅力づくり推進協議会	会員		広聴広報課	
	・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動埼玉県実行委員会	監事	保険医療部	薬務課	
	・日本ユニセフ協会埼玉県支部	評議員			
	・埼玉県交通安全対策協議会	委員	県民生活部	防犯・交通安全課	

ユース会議報告資料

1. 報告事項

(1) 定例会実施報告

日時：10月26日（日）18:00～20:30

場所：浦和コミュニティセンター

内容：①理事会・RCJ 報告

②各地区報告

③キックオフキャンプについて

④規約について

⑤講評

参加者

地区	みなみ	さい たま 南	さい たま 北	むさ し	北武	東埼玉	ひがし	西部 初雁	奥武蔵	RCJ	城西	アドバイザー	
氏名	—	前原	大阿 久	塚本	町田	君島	梶山	榎	小島	池野	久間	宇田 川	江村
出欠	—	×	○	×	○	×	×	△	○	○	○	×	×

・その他の参加者

足田（さいたま北地区ユース会議議長）

藤倉（西部初雁地区ユース会議副議長）

(2) 県ユース会議の事業について

①キックオフキャンプについて

・実施計画書、安全ハンドブックについて（理事長、県コミッショナーには報告済み）
別紙参照

(3) 県ユース会議に対する依頼について

①スカウト教育委員会への委員派遣

10月の定例会参加

②ベンチャー大会2026

運営として参加

2. 依頼事項

①キックオフキャンプ開会式あいさつ→斎藤理事長を通して県執行部に依頼済み

斎藤理事長あいさつ予定

②キックオフキャンプ閉会式講評→中牟田県コミを通して県コミグループに依頼済み

脇田県副コミッショナーあいさつ予定

③キックオフキャンプ救護所支援→実行委員会から遠藤委員長に依頼済み

期間中の安全委員人選済み

④キックオフキャンプで使用したい県連備品の貸出依頼について

→県連事務局に依頼文書を送付しました。11月2日に受け取り予定。

⑤キックオフキャンプで使用する書類の印刷依頼

→県連事務局に依頼文書を送付しました。11月2日受け取り予定。

3. 承認を求める事項

特になし

【次回定例会】

12月20日(土) 15:00～17:00

浦和コミュニティセンター



Saitama Youth Kickoff Camp 2025 計画書

埼玉県ユース会議 議長 小島 範之
Saitama Youth Kickoff Camp 2025 実行委員長 大阿久 翔一

1. 企画名 Saitama Youth Kickoff Camp 2025
2. 目的
 - ①プロジェクト発案を行い、実行に向けた体制を構築する
 - ②各地区所属スカウトの交流を促進し、互いの活動を活性化させる
3. 目標
 - ①各地区で2個のプロジェクトを採択しキックオフさせる
 - ②参加者50名（目標）の7割以上がプロジェクトに参加する
4. 日時 2025年11月8日(土) 10時00分 ～ 2025年11月9日(日) 12時30分
5. 場所 グリーンライフ猿花キャンプ場
〒337-0042 埼玉県さいたま市見沼区大字南中野975番地2

6. 企画概要

2日間のキャンプを通して、参加者がこれから取り組むプロジェクトの発案・共有をして、実現に向けたサポートを行う。また、交流プログラムではユース年代が今後ともに活動する仲間と親交を深め、地区や県を超えた横のつながりを作る。

7. 申込者人数 ユース年代（ローバースカウトおよび同年代指導者）
1都7県より47名参加見込み（2025/10/30 締切）

連盟	地区	参加者	実行委員	合計
埼玉県連盟	さいたま北地区	5	5	10
	さいたま南地区	2	—	2
	ひがし地区	1	—	1
	みなみ地区	1	—	1
	むさし地区	2	3	5
	北武地区	2	—	2
	奥武蔵地区	1	2	3
	西部初雁地区	—	2	2
	東埼玉地区	7	2	9
東京連盟	つばさ地区、新多磨地区	2	—	2
神奈川連盟	みなと地区、西湘地区	2	—	2
千葉県連盟	かわかぜ地区	1	—	1
茨城県連盟	第2地区、第3地区、第6地区	3	—	3
群馬県連盟	太田地区	1	—	1
栃木県連盟	東部地区	2	—	2
香川連盟	—	1	—	1
合計		33	14	47

8. タイムテーブル

時間	所要	名目	担当／備考
1日目（11月8日）			
9:00		キャンプ場利用開始	
10:00		参加者集合	
10:15	25	開会式	小島
10:40	50	アイスブレイク	佐藤 福島
11:30	30	昼食	
12:00		会議プログラム	池野 君島
16:40		夕食プログラム	橋本 吉田
18:55	50	ナイトプログラム	岩井 鈴木
20:00		1日目プログラム終了	
22:00		消灯	
2日目（11月9日）			
7:00	30	配給	橋本 吉田
7:30	30	朝食	
8:00		撤収作業	
9:00		点検受付開始	松岡
10:30		作業終了（完全撤収）	
10:45	90	交流プログラム	佐藤 福島
12:15	15	閉会式	小島
12:30		解散	
13:00		キャンプ場利用終了	

9. プログラム

日時	プログラム名	概要
11/8 午前	自己紹介BINGO	<p>新たな仲間を見つける2日間の幕開け ～オリジナルBINGOで自己紹介ゲーム～</p> <p>目的 参加者間の交流を深め、互いをよく理解することで、円滑なコミュニケーションが取れる状態にする。</p>
11/8 午後	Saitama Youth Kickoff Meeting 2025	<p>さあ、最初の一步を一緒に踏み出そう！ ～プロジェクト発案ミーティング～</p> <p>目的 これから取り組むプロジェクトを発案し、仲間と共に実現に向けた第一歩を踏み出す。</p>
11/8 夜	Saitama Youth 祭	<p>みんなで作る”お祭り”の夜 ～屋台、焚き火、そして...～</p> <p>目的 非日常的な時間を共有し、これから共に活動していく仲間同士の活発なコミュニケーションを促進する。</p>
11/9 午前	イチオシゲームLab.	<p>出会いと発見！ダブルで手に入れる交流プログラム ～持ち寄ったイチオシゲームでバトル！～</p> <p>目的 参加者間の仲をさらに深めるとともに、今後のRS・指導者活動に向けたヒントを得る。</p>

10. 参加費 1000円（食費・記念品費等）

11. 安全対策 県連盟事業安全ガイドラインに則り安全管理ハンドブックを策定し、以下の対策について規定する。

- (1)安全に関する事項（安全管理・安全対策・安全教育）
- (2)緊急時対応に関する事項（緊急時体制・対応手順）
- (3)応急救護に関する事項（健康管理・救護所の設置）
- (4)セーフ・フロム・ハームに関する事項

参加者に対しては参加者のしおりを事前に配布し、安全に関する注意事項を周知する

※各プログラムの安全対策についてはプログラム計画書参照

12.その他 見学について

- 埼玉県連盟の指導者や関係者の方の見学は大歓迎です。
- 見学の事前申し込みは不要です。受付等もございません。
- セキュリティの観点から、制服もしくはネッカチーフの着用にご協力をお願いいたします。
- 実行委員等による見学者向けの会場案内は予定しておりません。
- 見学は自己責任にてお願いいたします。

駐車場等について

- 駐車可能台数に限りがあるため、原則キャンプ場の駐車場は利用不可です。
- キャンプ場の駐輪場（自転車・バイク）は利用可能です。
- 公共交通機関や近隣コインパーキング等のご利用をご検討ください。

以上

Saitama Youth Kickoff Camp 2025

安全管理ハンドブック

Saitama Youth Kickoff Camp 2025 実行委員会
2025/10/20

第1章 総則	1
1) 目的	1
2) 各種ガイドラインの順守	1
3) 基本原則	1
4) 安全管理ハンドブック	1
5) 安全管理の体制	1
6) 開催の可否	2
7) 参加者の退場	2
第2章 安全対策	2
1) 下見の実施	2
2) 安全対策において考慮すべき事項	2
3) 安全対策計画の立案	2
4) 野営生活における安全対策	3
5) 衛生管理に関する安全対策	3
6) 安全教育の実施	4
第3章 セーフ・フロム・ハーム	4
1) セーフ・フロム・ハームの順守	4
2) セーフ・フロム・ハーム対応窓口	5
3) セーフ・フロム・ハーム事案の発生時の対応	5
第4章 応急救護	5
1) 健康管理と応急救護の原則	5
2) 応急救護体制の整備	5
3) 救護所の設置	5
第5章 緊急時対応	5
1) 緊急時対応の原則	5
2) 緊急時対応体制	6
3) プログラムの中止	6
4) 事業の中断・中止	6
5) 緊急避難	6
6) 避難の指示	6
7) 想定される緊急時	6
8) 緊急時対応手順-大規模災害、地震、台風、暴風雨(ゲリラ豪雨含む)、雷等の発生	7
9) 緊急時対応手順-事故、傷病者(食中毒・感染症)の発生	8
10) 緊急時対応手順-事件の発生	9
11) 緊急避難場所	10
12) 緊急時連絡先一覧	11

第1章 総則

1) 目的

- 安全管理ハンドブックはSaitama Youth Kickoff Camp 2025(以下本事業)の実施に当たり、すべての参加者及び実行委員の安全と健康を確保するために実行委員会及び参加者が遵守すべき事項をまとめ、本事業が安全に実施されることを目的とする。

2) 各種ガイドラインの順守

- 本事業は「ボーイスカウト埼玉県連盟 県連盟事業安全ガイドライン」に則って作成し、これを遵守する。
- 救護所の設置に関する事項は「埼玉県連盟メディカルチーム運用に関する取り決め事項」を参照する

3) 基本原則

- 安全の確保にあたっては以下の安全の3原則を基本原則とする。
 - 安全はすべてにおいて優先される
 - 自分の身は自分で守る
 - 決められたルールを守る

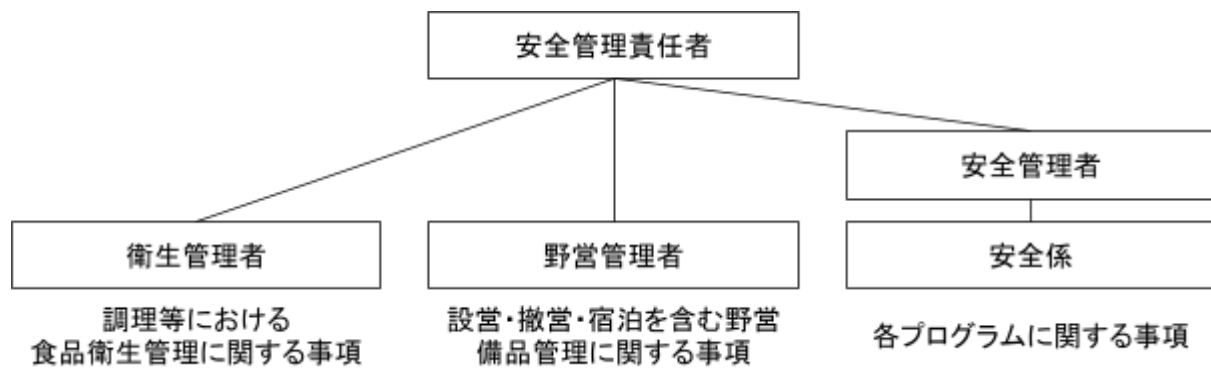
4) 安全管理ハンドブック

- 安全管理ハンドブックには以下の事項を定める
 - 安全に関する事項(安全管理・安全対策・安全教育)
 - 緊急時対応に関する事項(緊急時体制・対応手順)
 - 応急救護に関する事項(健康管理・救護所の設置)
 - セーフ・フロム・ハームに関する事項
- 実行委員は安全管理ハンドブックを遵守し、また参加者へ周知が必要な事項はこれを行う。

5) 安全管理の体制

- 本事業における安全管理の体制は、安全管理責任者に後方支援部長を充て、各担当者とその所掌任務を以下のとおり定める

役務	担当者	所掌任務
安全管理責任者	後方支援部長	<ul style="list-style-type: none">安全対策計画及び事故発生時の対応計画の立案事業実施中における安全管理事故発生時の危機管理対応応急救護に関する事項
安全管理者	プログラム部長	<ul style="list-style-type: none">各プログラムにおける安全対策計画の立案への指導及び助言各プログラム実施時の安全対策の実行への助言安全管理責任者不在時の代行
安全係	各プログラム担当者	<ul style="list-style-type: none">担当プログラムの安全対策計画の立案各プログラム実施時の安全対策計画に則った安全対策の実行
衛生管理者	後方支援部 食事担当	<ul style="list-style-type: none">食中毒の発生を予防するための、食品の保管方法、調理方法や調理器具の扱いの適切な管理
野営管理者	後方支援部 総務担当	<ul style="list-style-type: none">設営、撤営、宿泊を含む野営における安全対策計画の立案備品の適切な管理野営時の安全対策計画に則った安全対策の実行



6) 開催の可否

- 本事業の開催可否は運営責任者である実行委員長及び県ユース議長並びに安全管理責任者により協議し判断する。

7) 参加者の退場

- 実行委員長は、事件等の加害者またはセーフ・フロム・ハームの規定に反する者等に対し、参加者の安全を確保するために必要と判断した場合には、安全管理責任者と協議の上、当該者を退場させることができる。
- 実行委員長は、退場処分を実施した場合には速やかに県連盟等関係各所へ情報を共有する。
- その他、傷病者等の発生、または事件の発生における対応については、緊急時対応手順に則る。

第2章 安全対策

1) 下見の実施

- 安全対策計画の立案にあたり、実行委員長または安全管理責任者により、会場予定地の下見を実施する。

2) 安全対策において考慮すべき事項

- 本事業の実施に当たっては安全対策計画の立案において、以下の事項を各担当者が考慮する。

担当者	安全対策において考慮すべき事項
野営管理者	【交通安全】 会場周辺の交通状況を把握する。 必要に応じて駐車場等へ人員を配置し交通事故に注意する。 【害獣・害虫対策】 周辺の野生生物等について確認し必要な対策を講じる。
衛生管理者	【衛生管理】 調理全般における衛生状態に留意し食中毒等の発生を防止する。 配給後の食材の適切な管理方法等について参加者に周知する。
各プログラム 安全係	【健康管理】 天候、気温なども考慮し活動時間、休息時間を決定する。 【火気の取扱い】 火気を扱うプログラムにおいては、取扱い時の注意事項を周知する。

3) 安全対策計画の立案

- 本事業の各プログラムに関する安全対策計画は、各プログラムの安全係がKYTを実施し立案する。
- 調理及び衛生管理に関する安全対策は以下に定め、衛生管理者がこれを実行する。

- 設営、撤営、宿泊を含む野営、及び備品の管理に関する安全対策は以下に定め、野営管理者がこれを実行する。
 - 各プログラムに関する安全対策計画は別途詳細計画に記載する。
- 4) 野営生活における安全対策
- 交通安全
 - 場外では歩道の無い道路もあるので、参加者は交通ルールを遵守する。
 - 備品の搬入・搬出及び買い出しなどの際には、駐車場等へ人員を配置し交通事故に注意する。
 - 参加者の来場手段は原則として公共交通機関とし、自家用車を使用する場合は事前に実行委員会へ申し出るものとする。
 - 害獣・害虫対策
 - 下見時に野営上周辺の野生生物等について確認し、実行委員会が必要な対策を講じる。
 - 実行委員会は、害獣・害虫対策に必要な事項について、事前に参加者に周知し、参加者自身でも対策を行うよう促す。
 - 備品管理
 - 備品の紛失を防止するため、備品リストを作成する。
 - 包丁、なた、ナイフ等の刃物の扱い方の再確認を参加者に周知し、刃物による傷を負わないように注意する。
 - その他、プログラムで刃物を用いる場合には、プログラムの安全対策計画書に対応を明記する。
 - 火気の取り扱い
 - 参加者は火気の取り扱いおよび火災発生の予防に万全の注意を払う。
 - 火気は、炊事場及びキャンプファイア場のみで使用することができ、それ以外の場所での使用を禁止する。
 - その他、プログラムで火気を用いる場合には、プログラムの安全対策計画書に対応を明記する。
 - その他
 - キャンプ場内に設けられた給水施設、トイレ等は共同使用施設であることを認識し、お互いに清潔に他の利用者への配慮をして使うことに留意する。
- 5) 衛生管理に関する安全対策
- 調理時の衛生管理
 - 食中毒の大部分は細菌によるもので、食中毒を防ぐには、次の3つのことに注意する。
 - (1) 清潔の原則(食中毒菌をつけない)
 - (2) 温度の原則(食中毒菌を殺す)
 - (3) 迅速の原則(食中毒菌を増やさない)
 - 調理を行う際には、洗剤を用いた手洗いを徹底する。
 - 食材は基本的に加熱調理を行い、十分に加熱をする。
 - 調理器具の衛生管理
 - 調理器具は良く洗浄し、または消毒し乾燥させ、清潔に保つ。
 - 包丁やまな板は、洗浄をしてあってもアルコール除菌を行ってから使用する。
 - トングや箸等は生肉用とそれ以外で使い分ける。
 - 食材の衛生管理
 - 食材は衛生管理者のもと、実行委員会で管理する。
 - 食肉及び野菜は10℃以下、生鮮魚介類は5℃以下を目安に保存する。

- 調理には必ず水道水を用いる。
- 食材の保管にあたってはクーラーボックスや氷を準備し、直射日光を避ける。
- 消費期限を確認し、消費期限の切れた食材は使用せず廃棄する。
- 参加者へは必要な食材のみを調理時に配給し、配給後の食材は直射日光を避けて日陰に保管する。
- 調理済みの食糧は長時間放置せず、調理後は早めに食べる。
- ごみの管理
 - なるべくごみを出さないように留意する。
 - 原則として参加者自身の出したごみは参加者が持ち帰る。
 - 排出されたゴミは自治体の基準に従って適切に分別する。
 - 燃えるゴミについてはできるだけ燃焼し、生ごみ等残ったゴミは密閉して保管し、撤営時に持ち帰る。
- アレルギー対応
 - 参加者に事前に食物アレルギーの有無を確認する。
 - アレルギーのある参加者に対しては、原則として自己除去または代替食料の持参を要請する。

6) 安全教育の実施

- 本事業においては、参加者がユース年代（ローバースカウト及びユース年代指導者）であることに留意し、参加者に事前に情報を十分に提供することをもって参加者の安全意識の向上を図る。
- 以下の事項を参加者に周知するため、実行委員会は参加者のしおりを作成し、事前に参加者へ配布する。

担当者	周知すべき事項
野営管理者	【急激な天候の変化等による避難場所】 下見時に確認した屋根のあるスペースの位置、及び避難の方法 【野営生活の基準】 設営、撤営、炊事の方法及び野营地周辺の環境 【火気の取り扱い】 火の取り扱いにおける注意事項
衛生管理者	【衛生管理】 食中毒の発生を予防するために必要な事項 配給後の食材の適切な管理方法等
各プログラム 安全係	【危険箇所・活動場所】 下見時に把握した危険箇所及び事前に定めた活動場所 【活動時間】 活動時間及び休憩時間

第3章 セーフ・フロム・ハーム

1) セーフ・フロム・ハームの順守

- 本事業は、ユース年代を対象にした事業であることから、ローバースカウト及び指導者が参加する。この点に留意し、本事業のすべての実行委員及び参加者は、スカウト同士、指導者同士、スカウトと指導者のいずれの場合にもセーフ・フロム・ハームの考え方が必要であることを理解し、セーフ・フロム・ハームガイドラインを遵守する。
- 実行委員会はセーフ・フロム・ハームガイドブックに則った対応を行う。
 - 本事業の実施中は飲酒を禁止する。

- 実行委員会は喫煙場所を指定し、喫煙は喫煙場所のみとする。喫煙場所は活動場所から一定距離を置いた場所となるよう配慮し、プログラム中の喫煙は原則これを禁止する。
- 2) セーフ・フロム・ハーム対応窓口
 - 本事業におけるセーフ・フロム・ハーム対応窓口は、安全管理責任者および救護所のメディカルチーム員とする
 - ただし、上記は原隊の指導者や県連盟相談窓口、日本連盟相談窓口への相談を妨げるものではない。
 - 3) セーフ・フロム・ハーム事案の発生時の対応
 - 参加者または実行委員が肉体的・性的・精神的危害を受けるような事態が発生した時には、安全管理責任者はそれ以上拡大しないように事態の進行を止めるための措置を直ちに講じる。
 - 上記事態の発生時には、安全管理責任者は速やかに県連盟コミッショナーグループへ報告しなければならない。
 - 怪我をしている人がいる場合は、事故発生時の緊急時対応手順にしたがって応急手当等の対応を行う。
 - 事案の関係者は、セーフ・フロム・ハーム対応窓口において対応する。
 - 危害の内容によっては、所定の手順に従って当該者を退場処分にする場合がある。

第4章 応急救護

- 1) 健康管理と応急救護の原則
 - 参加者は、自身の健康管理と保健衛生に責任を持つ。
 - 参加者は、個人で常備薬や救急セットを携行するなど、個人で対応可能な怪我、傷病については、自分で対応する。
 - 参加者は、体調不良やケガ等により、活動に支障のある場合は、躊躇なく実行委員へ申し出たり救護所を利用することができる。
- 2) 応急救護体制の整備
 - 実行委員会は、参加者の万全を期し、救急及び救助体制を整え傷病者の応急手当を行うとともに、緊急時対応が速やかに行える体制を整備する。
- 3) 救護所の設置
 - 本事業では、県連盟安全ガイドラインに則り、救護所を設置する。
 - 救護所の設置にあたっては、県連盟安全委員会及び県連盟メディカルチームに協力を要請し、資機材及び人員についての支援を受ける。
 - 救護所は事業参加者が活動する場所と仕切られた空間とし、救護関係者以外の立ち入りを禁止する。

第5章 緊急時対応

- 1) 緊急時対応の原則
 - 本事業の実施中、事故等が発生した場合には人命救助を最優先として対応にあたる。
 - 実行委員は、あらかじめ定められた事故発生時の対応を速やかに実行するとともに、被害の拡大防止に努める。
 - 安全管理責任者は、緊急時には躊躇することなく119番、110番通報を行い、関係機関へ速やかに通報する。

2) 緊急時対応体制

- 緊急時と判断される事態が発生した場合、実行委員は速やかに以下の手順に則って参加者及び実行委員の安全を確保する。
- 緊急時には以下の役割分担とする。

役務	所掌任務
実行委員長	実行委員会全体を指揮し、事態の収拾を図る
副実行委員長	関係各所との窓口として、県連盟及び参加者関係団・隊との情報共有を集約する
後方支援部長 (安全管理責任者)	情報集約の窓口として、警察及び救急・消防への緊急通報を一元化し、緊急時対応手順を実行し、避難の必要性を判断する
プログラム部長 (安全管理者)	現場対応の窓口として、現場の実行委員を指揮して、被害の拡大防止と現場保存の対応を指示する。
実行委員	安全管理者の指示のもと、人命救助を最優先としてあらかじめ定められた事故発生時の対応を速やかに実行する。

3) プログラムの中止

- 悪天候・災害等によりプログラムを中止する必要がある場合、プログラム部長と安全管理責任者が協議の上決定する。

4) 事業の中断・中止

- 実行委員長は、以下の場合に実行委員会を招集し、事業の中断または中止を決定する。
 - 天災等により避難を余儀なくされ、または感染症が蔓延し、実行委員会において、参加者の安全確保が困難であると判断された場合。
 - その他、実行委員会等において、キャンプ生活を継続することが危険であると判断された場合。

5) 緊急避難

- 実行委員長は、大規模災害、地震、台風、暴風雨(ゲリラ豪雨含む)、雷等の発生により、緊急避難が必要となる場合、実行委員会で協議の上対応を決定する。

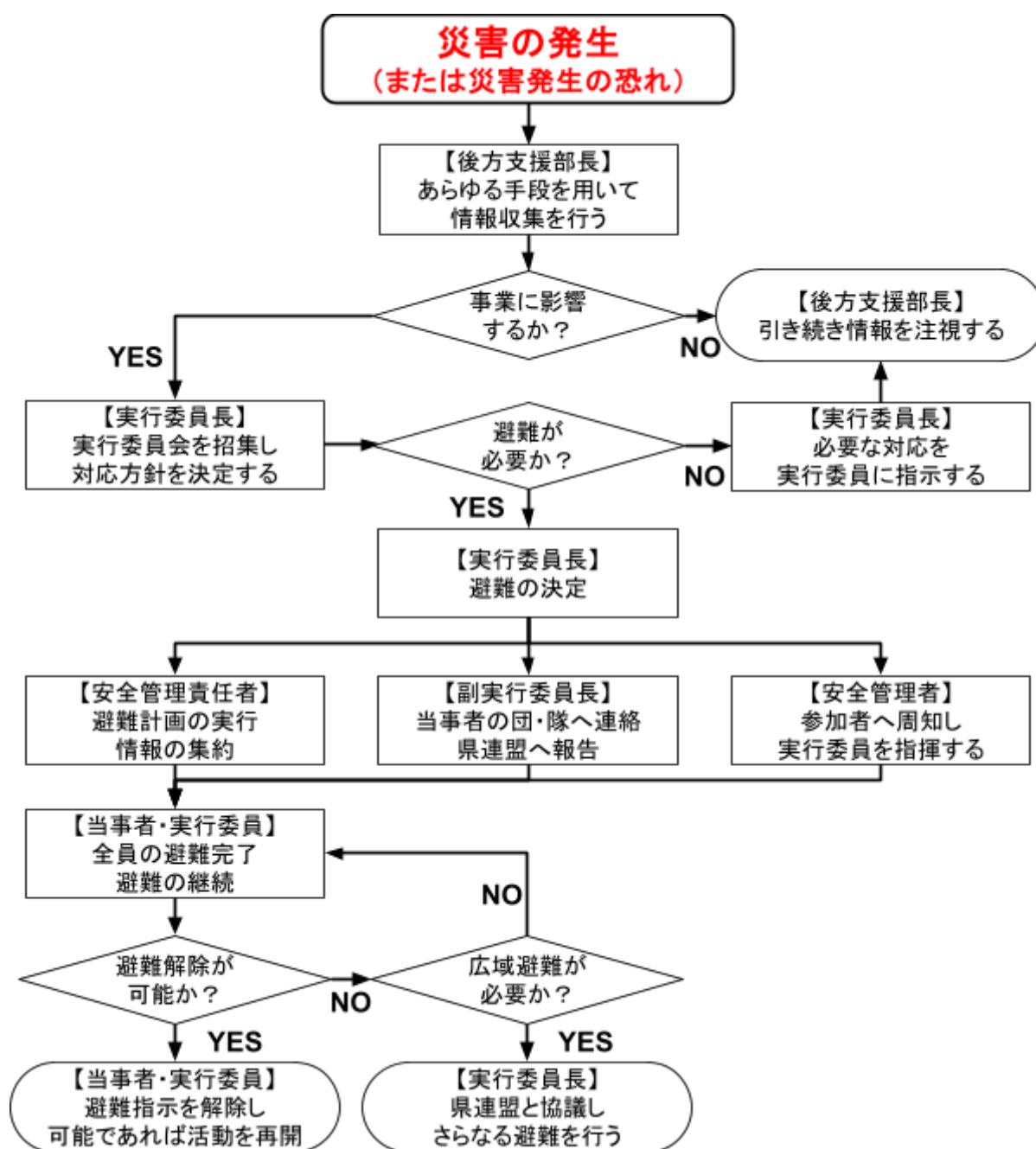
6) 避難の指示

- 一時的な緊急避難が必要となる緊急時と判断される場合には、実行委員長は避難指示を発令する。
- さらなる広域避難が必要となる場合には、実行委員長は県連盟と協議の上、別途避難指示の発令を検討する。

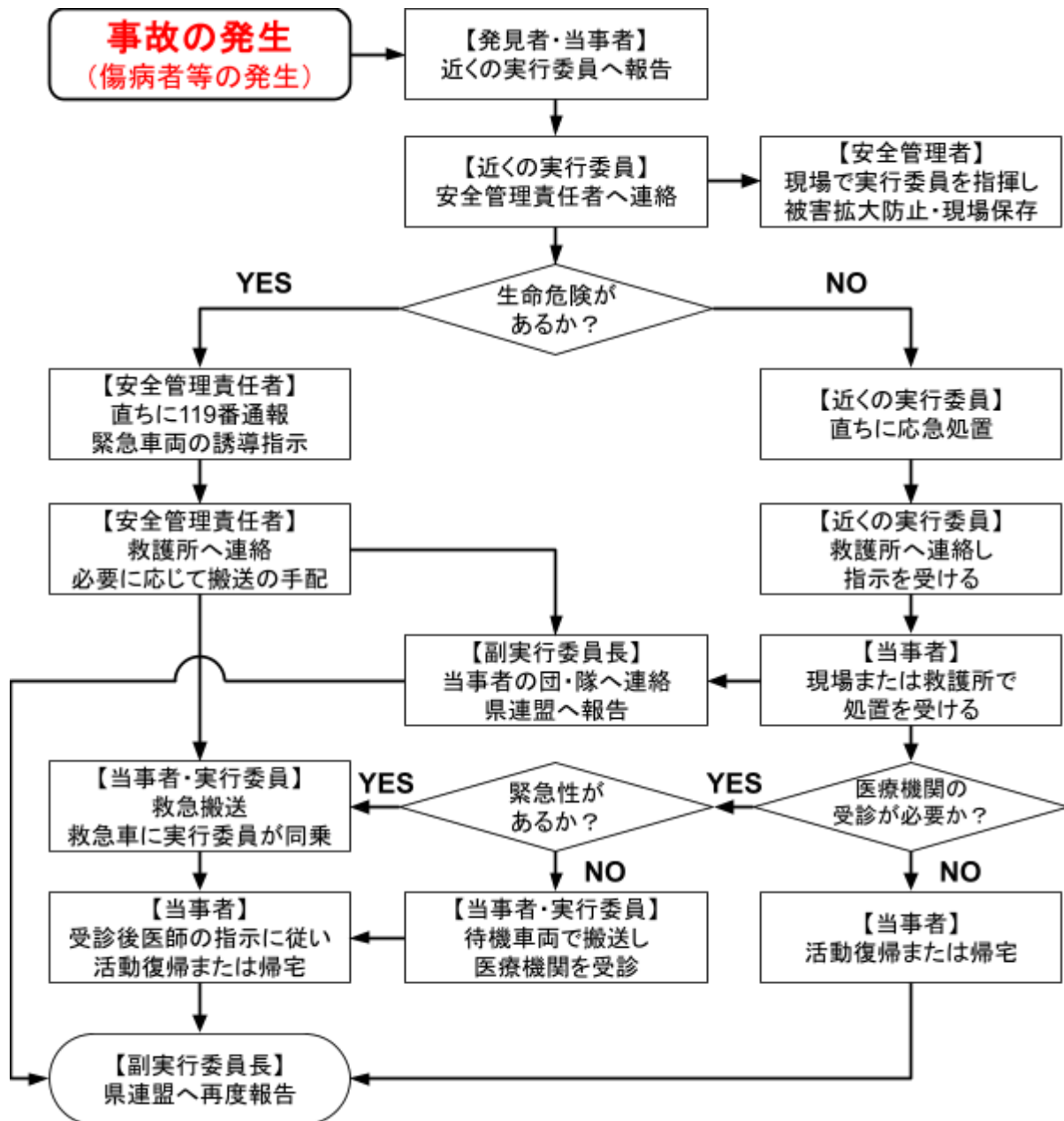
7) 想定される緊急時

- 本事業の実施中に以下の事態が発生した場合は緊急時と判断し、安全管理責任者は緊急時対応体制を立ち上げ、以下に定める手順に従って速やかに行動する。
 - 大規模災害、地震、台風、暴風雨(ゲリラ豪雨含む)、雷等の発生
 - 事故、傷病者(食中毒・感染症)の発生
 - 事件の発生

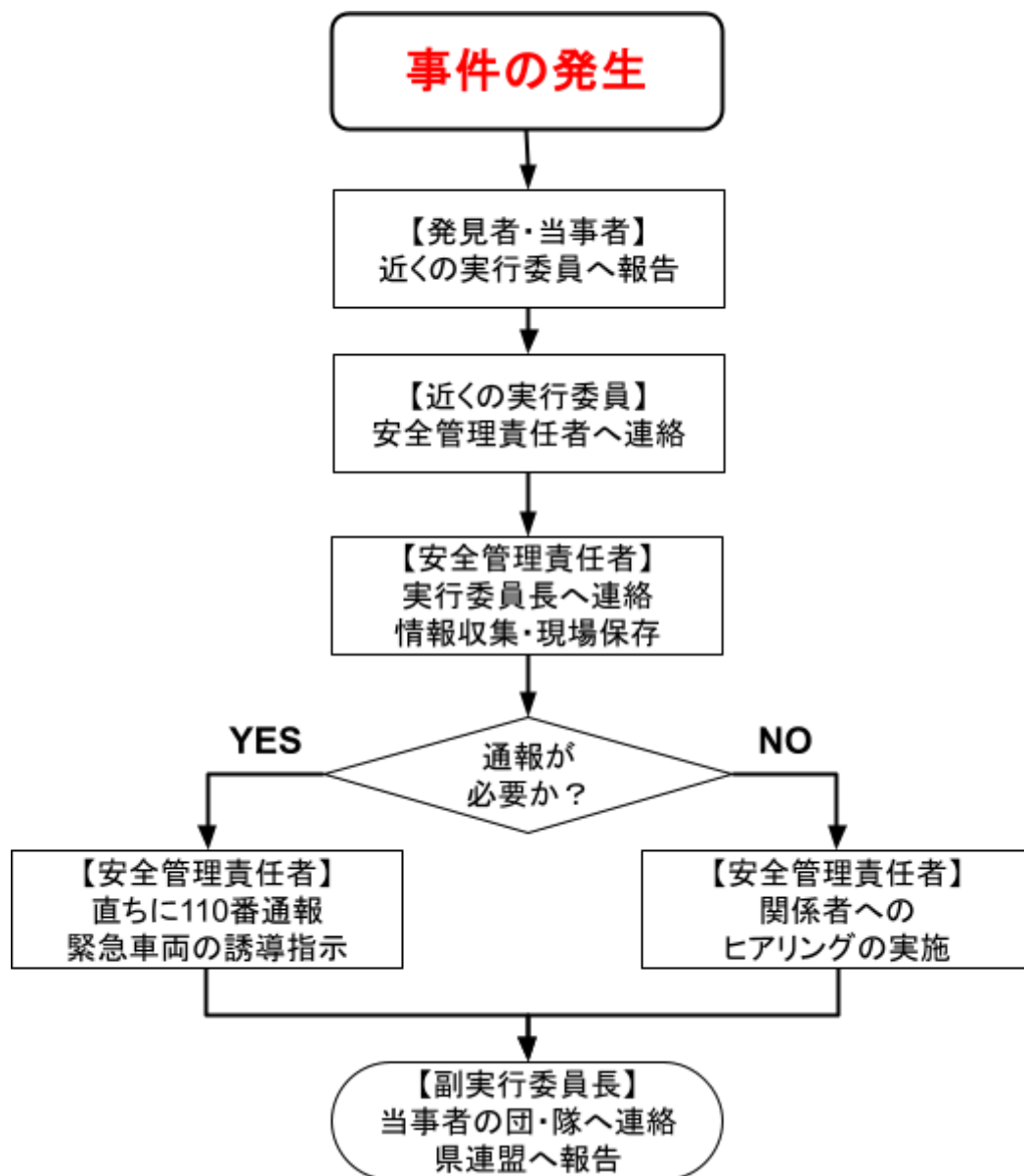
8) 緊急時対応手順-大規模災害、地震、台風、暴風雨(ゲリラ豪雨含む)、雷等の発生



9) 緊急時対応手順-事故、傷病者(食中毒・感染症)の発生



10) 緊急時対応手順-事件の発生



11) 緊急避難場所

- 避難指示が発令された場合には、すべての参加者および実行委員は行っている活動を直ちにやめ、以下に定める場所へ速やかに避難する。

【緊急避難場所】

グリーンライフ猿花キャンプ場 炊事棟



12) 緊急時連絡先一覧

安全管理責任者	小林 航汰朗(さいたま北)	
安全管理者	足田 拓真(さいたま北)	
病院	さいたま市立病院	代表:048-873-4111 住所:埼玉県さいたま市緑区三室2460
	さいたま市 大宮休日夜間急患センター	携帯:048-667-8180 住所:埼玉県さいたま市北区宮原町1-851 JCHOさいたま北部医療センター内
	埼玉県救急電話相談	電話:#7119(048-824-4199)
埼玉県連盟	県連事務局 (10:00~17:00)	電話:048-822-2463
猿花キャンプ場	さいたま市 子ども未来局子ども育成部 子ども・青少年政策課 青少年育成係	電話:048-829-1716

参考

- 日本ボーイスカウト滋賀県連盟18NSJ 実行委員会 第18回日本スカウトジャンボリー 滋賀会場18NSJ 滋賀安全管理ハンドブック
(https://scout-shiga.jp/pdf/18ns_shiga_safety_management_handbook.pdf)
- 第18回日本スカウトジャンボリー 高萩SFサテライト 参加の手引き
(<https://scout-ib.net/assets/18nsj%e9%ab%98%e8%90%a9sf%e3%82%b5%e3%83%86%e3%83%a9%e3%82%a4%e3%83%88%e5%8f%82%e5%8a%a0%e3%81%ae%e6%89%8b%e5%bc%95%e3%81%8d220702%e6%9c%80%e7%b5%82%e7%89%88.pdf>)
- ボーイスカウト埼玉県連盟 県連盟事業安全ガイドライン
- 埼玉県連盟メディカルチーム運用に関する取り決め事項
- セーフ・フロム・ハームガイドライン
- ボーイスカウト安全ハンドブック

10月 施設管理委員会

出席:○ 欠席:× 通欠:△

委員 長	副 委員 長	副 委員 長	副 委員 長	地区名								
				みなみ	さい いた ま南	さい いた ま北	む さし	北 武	東 埼 玉	ひ がし	西 部 初 雁	奥 武 蔵
荒木	星谷	新井	狩俣	長	宮坂	鯉沼	新井	副	村井	牧野	副	浅見
○	○	○	○		○	○	○		○	○		○

5日

10月5日9時～13時半 東秩父野営場整備 ※さいたま北は金田氏、北武は萩原氏の増員

承認依頼事項:ありません

理事会報告

次回東秩父整備について

- 10月5日9時～ 12名で整備を行う
- ・ 通常の清掃を行う 進入路のコケを効率よく落とす方法を探る
伐採機に付けるコケ取り用の金属ブラシは極めて有効だが消耗も大きめ
管理棟にかかる樹木の枝打ちを行う
- ・ 水源の整備 水の流入が復活し、ポンプ稼働して蛇口から水を出せる状態になった
流しの中やカバーについても清掃を行った
中水タンク内も清掃
- ・ 屋根の清掃を行う ブロアでの落ち葉飛ばしは、かなり有効
樹木の枝打ちで建物の瓦が少し破損したので補修を行う
転落防止のロープは有効に機能した
- ・ その他 伐採機の替え刃等は1年保たないので、きちんとした予算確保が必要
倉庫内に麦わらの束がかなりの量残っている
パイプ椅子がラック2基と共に倉庫内に置かれている
マーキーテント(倉庫)を畳むには、それらの移動が必要

次回、施設管理委員会は、

11月4日(火曜)19:30～ web会議
11月30日(日曜)東秩父野営場整備・三芳倉庫整備
二つのグループに分かれて作業する



受水槽の水量が復活
水道が利用可能



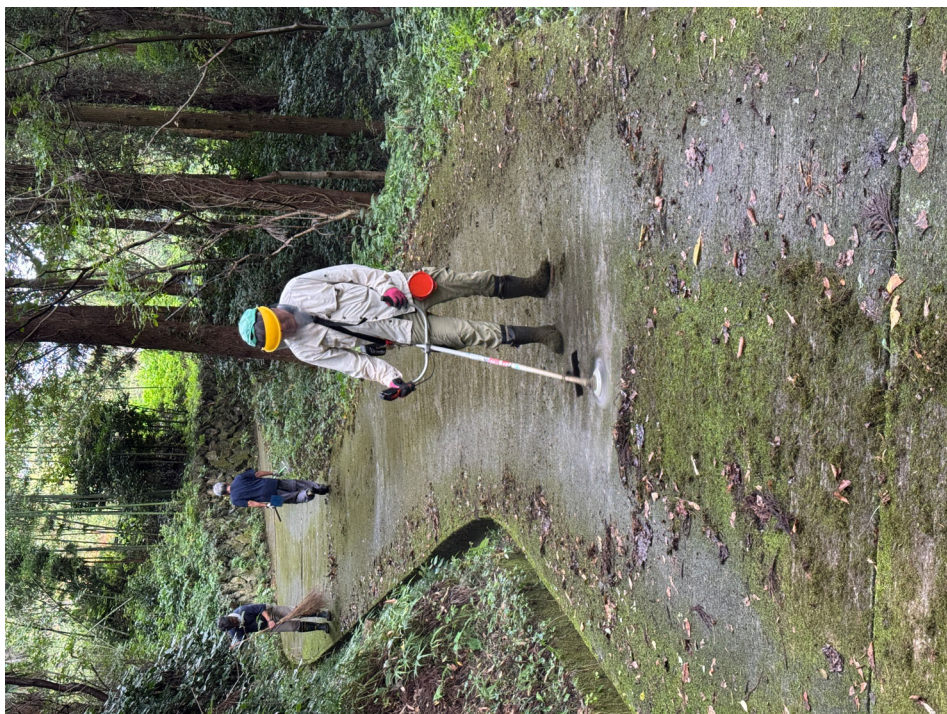
管理棟前
作業前の状態



管理棟屋根
清掃作業完了後



進入路(作業前)



進入路(コケ取り作業中)



進入路(清掃後)



伐採機用のコケ取りブラシ
新品の状態



洗い場(清掃完了後)



コケ取りブラシ
1日作業完了後

10 月安全委員会報告

○開催日時 9 月 18 日

委員長	副委員長		地 区 名							
		みなみ	さいたま南	さいたま北	むさし	北武	東埼玉	ひがし	西部初雁	奥武蔵
遠藤	松田	未選任	今井	委員長	北林	高橋	菊池	寺田	小見山	原田
○	○		○		○	○	○	○	○	○

出欠席 ○出席、×欠席

【承認・依頼事項】

なし

【連絡・報告事項】

1. Saitama Youth Kickoff Camp 2025

救護所協力（宿泊あり）

メディカルチーム 吉田 共歩、福島 茉依

安全委員会

11 月 8 日 今井

11 月 9 日 遠藤

2. 日本連盟 安全安心制度について 別紙資料参照

本年度実施された安全セミナーにておいて説明を行った内容を書面にしました。

そなえよつねに共済の手引きについて誤解を与える恐れのある部分を含め、「そなえよつねに共済」、「対人・対物賠償責任保険」について理解を求める内容となっています。

各団において正しい理解のうえで必要な処置を実施して下さい。

【次回会議予定】

10 月 ONLINE 予定

安全委員会 safetysaitamascout@gmail.com

安全安心制度の概要

～「すべての加盟員を対象とする」の誤解～

本資料は、日本連盟 そなえよつねに共済 / 賠償責任保険の手引き 1 ページにある「すべての加盟員を対象としている」との記載により誤解を招いている恐れがある制度内の補償について、補償の内容によって対象者は異なるという正しい認識を持ち、適切な対策をして頂くために作成したものです。

1 安全安心制度について

日本連盟が冒険的プログラムを展開する団や隊をサポートするため「安全確保・事故補償のシステムループ」と称する**安全・安心制度**を構築しています。この制度は3つの補償からなり、その柱となる事故補償の仕組みが「**そなえよつねに共済**」の運営です。

安全安心制度（3つの補償）

そなえよつねに共済（ケガをした場合）
対人賠償責任保険（ケガをさせた場合）
対物賠償責任保険（財物を壊した場合）

《そなえよつねに共済の目的》 安全安心制度の中核

- ① ボーイスカウト活動に適合した補償内容
- ② 掛金の低廉下
- ③ 安全普及啓発活動等費用の醸成・活用
- ④ 事故データの取得・有効活用

※3つの補償ですが「そなえよつねに共済」と「対人・対物賠償責任保険」は別のものです。

2 「そなえよつねに共済」について

ボーイスカウト活動中の事故を補償します。
とは？

※往復途上（自宅等～活動場所）の事故も対象ですが次のいずれかへの該当が必要です。

- ① 制服着用
- ② 活動計画書や参加者名簿により参加者や開催、日時、場所が事前に確定していること。

日本連盟または都道府県連盟・地区・団・隊が行うこと、もしくは参加することを認めた活動で、**その事実が文書等により客観的に確認できるもの。**

「活動計画書・参加者名簿」

活動名
活動日時
活動場所
活動内容
活動計画書の作成日

少なくとも、左の
5項目を満たすこと



2-1 補償対象者の範囲

- ① 教育規定に基づいて加盟登録するスカウト
- ② 教育規定に基づいて入隊課目を履修する仮入隊者
- ③ 「ボーイスカウト活動」に参加する①②以外の青少年
- ④ 教育規定に基づいて加盟登録する指導者
- ⑤ ④以外の「ボーイスカウト活動」における指導者及び活動を支援する支援者
- ⑥ 「ボーイスカウト活動」に参加または同行する①～③の保護者、親族、④や⑤の親族

注意① 共済加入手続きはすべて加盟登録システムにて行う。→詳細は手引を確認

注意② 加盟員は加盟登録申請と登録料の着金いずれか遅い日が加入日で翌日から補償

注意③ 非加盟員は共済加入の登録申請と共済掛金のいずれか遅い日が加入日で翌日から補償

注意④ 終了日が**当該年度の最終日3月31日の午後12時**

※活動計画書を必ず作成して、
2年度分程度は保管しておくこと。

2-2 補償とならない場合

- ① 専用道具を使った山岳登坂など**特に危険を伴う活動**を行なっている間に生じた事故（ピッケル・アイゼン・ハンマー等）（スカイダイビング・ハングライダーなど）
- ② 食中毒
- ③ むちうち症や頸部症候群、腰痛、筋肉痛など医学的他覚所見のない症状のもの
- ④ 地震、噴火、津波による損害

※詳細は手引をご確認下さい。

3 対人・対物「賠償責任保険について」

対人・対物の賠償責任保険は、加盟登録をする団及び指導者を対象として、「ボーイスカウト活動」中の不慮の事故に起因して第三者に損害を生じた場合に、団や指導者の過失に基づく損害賠償額を補償する仕組みです。

スカウト個人の過失で負った賠償責任は安心・安全制度の対象ではない

3-1 賠償責任保険の特徴

- ① スカウトの行為に起因して賠償事故が生じた場合、監督責任等において団や指導者の過失が認められる場合には過失割合に応じて補償の対象になる。

例 スカウトの行為で1000万の賠償事故が生じた場合

指導者の管理監督責任による過失割合が20%であれば 200万→補償される。

スカウトの過失割合80% 800万→補償されない（そもそも対象ではない）

- ② スカウトが負ったケガや団員の所有物を損壊させた場合、その原因として団や指導者に過失が認められる場合には補償の対象となる。

- ③ 補償の対象となる事故の訴訟費用、弁護士報酬も対象となる。

3-2 補償の対象とならない場合

- ① 個人が負担すべき賠償責任で、団や指導者としての過失が認められないもの
② 自動車、航空機、船舶等に起因する事故
③ 往復途上の事故に起因する損害
④ 団が所有、使用、管理する財物損壊で、その所有者等に対する賠償責任→詳細は手引き
⑤ 故意や心神喪失により生じた事故に起因する賠償責任
⑥ 海外で生じた事故に起因する賠償責任
⑦ 法律上の賠償責任が生じない場合→詳細は手引き
⑧ ボーイスカウト活動後に、ボーイスカウト活動の結果生じた財物の損壊に起因する賠償責任
⑨ 動物や銃器の所有、使用、管理に起因する賠償責任



3-3 例示及び準備すべき補償

例1 BVS 隊

隊集会で絵を書いていたスカウト。他のスカウトに書いた絵をからかわれ怒って飛びかかり大きなケガを負わせてしまった。

隊指導者にも多少の責任はありますが、スカウト個人の責任が大きい。（12歳未満の場合、普段のしつけ、教育の責任者＝保護者の責任が大きくなる。）

例2 VS 隊

VS 隊でサイクリング、隊長は計画書を確認、出発日に健康や装備を確認し見送った。活動中、先頭者が急停止したため後続のスカウトが追突し先頭者にケガを負わせた。

隊長や団の責任は非常に少ないが、追突したスカウトの責任は大きいものになります。（自転車保険等で対応可能）

**事故に関しては「全ての責任が管理者にある」という認識は間違いです。
責任の大部分は当事者（被害者も含む）にあります。**

推奨事項

- ① CS のデンリーダー、BVS の補助者は必ず「指導者登録」しておくこと。
② 活動を手伝う可能性のある RS は従登録で「指導者登録」をしておくこと。
③ 保護者会などで保護者に「そなえよつねに共済」があるから全て安心だと話さないこと。
④ 共済の手引きを配布する場合はしっかりと説明をすること。
⑤ 「個人賠償責任保険」や「日常賠償責任保険」などを保険屋に相談するように伝えましょう。

※スカウト個人に対して賠償金請求が出た場合は保険の対象（被保険者）ではないので、安心・安全制度の保険会社は立ち入れません。交渉から支払いまでスカウト個人（保護者）が行うことになります。

※個人賠償責任保険などは火災保険や車の保険の特約、団体での掛け捨てなど多くの種類があります。補償範囲、内容（補償の適応範囲、弁護士費用など）をよく確認してご対応下さい。

トレーニングチーム

ディレクター 脇田 大輔

■報告事項

1. 指導者訓練派遣

団委員研修所関東第 28 期 10/31(前日入り)～11/3 プラス G セミナーガーデン	
所長	中井祐幸 LT
所員	石井一成 ALT
所員	高木英一 ALT
所員	水書祐美子 ALT
所員	須崎統子指導要員
所員(千葉)	海老坪聡 LT
所員(千葉)	菊地隆一 ALT
所員(千葉)	大槻みな子 ALT

その他の定型訓練

開催日	名称	開催担当	スタッフ・講師
11/1～4	ウッドバッジ実修所カブスカウト課程第 182 期	日連(東京)	遠藤利幸 LT
11/1～3	コミッショナーベーシックトレーニング関東第 5 期	群馬	中牟田和彦 LT
11/22～23	コミッショナー任務別研修 地区コミ課程関東第 5 期	群馬	江村英世 ALT
11/29～30	コミッショナー任務別研修 県コミ課程第 5 期	日連(大阪)	中牟田和彦 LT

2. 今後の会議・集会予定

- (1) 全国ディレクター研修会 12 月 6 日(土)～7 日(日) NYC 遠藤副ディレクター参加
- (2) 第 2 回トレーニングチーム全体集会 12 月 13 日(土)AM WEB

令和7年11月1日

ボーイスカウト埼玉県育成会

2025年度 埼玉県育成会・維持会費・支援自販機 実績明細【10月末】

地 区 名	2025年度 目 標 依 頼 額		2025年度 納 入 実 績 額				支援自販機 設置台数	
	目 標 依 頼 金 額	会 員 数	金 額	会 員 数	目 標 依 頼 金 差	達 成 率	合 計 台 数	2025 年 度 新 規
み な み	¥ 75,000	7名	¥ 45,000	6名	¥-30,000	60.0%	1台	0台
さいたま南	¥ 129,000	24名	¥ 180,000	20名	¥51,000	139.5%	2台	0台
さいたま北	¥ 129,000	21名	¥ 65,000	11名	¥-64,000	50.4%	5台	0台
む さ し	¥ 107,000	14名	¥ 120,000	12名	¥13,000	112.1%	3台	0台
北 武	¥ 118,000	5名	¥ 75,000	6名	¥-43,000	63.6%	0台	0台
東 埼 玉	¥ 129,000	17名	¥ 140,000	10名	¥11,000	108.5%	0台	0台
ひ が し	¥ 140,000	7名	¥ 30,000	5名	¥-110,000	21.4%	2台	0台
西部初雁	¥ 129,000	23名	¥ 190,000	19名	¥61,000	147.3%	6台	0台
奥 武 蔵	¥ 86,000	8名	¥ 20,000	3名	¥-66,000	23.3%	1台	0台
地 区 小 計	¥1,042,000	126名	¥ 865,000	92名	¥-177,000	83.0%	20台	0台
毎 日 興 業	¥ 180,000	24名	¥ 180,000	19名	¥0	100.0%	1台	0台
サ イ サ ン	¥ 70,000	7名	¥ 55,000	6名	¥-15,000	78.6%	0台	0台
コカ・コーラ	¥ 10,000	1名	¥ 10,000	1名	¥0	100.0%	0台	0台
ロータリー	¥ 60,000	5名	¥ 35,000	5名	¥-25,000	58.3%	0台	0台
ライオンズ	¥ 15,000	2名	¥ 10,000	2名	¥-5,000	66.7%	0台	0台
県 連 盟	¥ 30,000	4名	¥ 30,000	4名	¥0	100.0%	0台	0台
県連盟小計	¥ 365,000	43名	¥ 320,000	37名	¥-45,000	87.7%	1台	0台
維 持 会 費	¥1,407,000	169名	¥1,185,000	129名	¥-222,000	84.2%	21台	0台
特別大口維持会費	¥2,400,000	6名	¥ 400,000	2名	¥-2,000,000	16.7%		
総 合 計	¥3,807,000	175名	¥1,585,000	131名	-2,222,000	41.6%	21台	0台

【2025年度 日本連盟維持会費目標依頼達成状況】（9月末日現在）

◇ 2025年度日本連盟維持会費埼玉県連盟依頼額 ￥2,279,000

◇ 2025年度日本連盟維持会費納入 9月末日現在実績 ￥1,169,000

◇ 達成率 51.3% ◇ 達成までの残高 ￥-1,110,000

◇ 2025度 地区目標額達成状況

地 区 名	団数	目標依頼額	会員数	入金数	内新規	入金額	目標差	達成率
1 みなみ	7	135,100	11	4	0	41,000	-94,100	30.3%
2 さいたま南	12	231,600	25	18	1	178,000	-53,600	76.9%
3 さいたま北	12	231,600	22	12	0	222,000	-9,600	95.9%
4 むさし	10	193,000	17	7	0	82,000	-111,000	42.5%
5 北 武	11	212,300	11	4	0	40,000	-172,300	18.8%
6 東埼玉	12	289,500	19	8	0	292,000	2,500	100.9%
7 ひがし	13	270,200	21	5	0	52,000	-218,200	19.2%
8 西部初雁	12	231,600	15	3	0	30,000	-201,600	13.0%
9 奥武蔵	8	154,400	14	3	0	22,000	-132,400	14.2%
10 県 連	0	329,700	5	3	0	210,000	-119,700	63.7%
合 計	97	2,279,000	160	67	1	1,169,000	-1,110,000	51.3%

◇ 目標依頼額達成するための活動推進のお願い

①新規加入者の増加推進

スカウト運動理解者・地区取引先関係者・県連・地区・団関係者・その他新規加入依頼

◎ 維持会費 通常維持会員 年額 10,000円より

特別維持会員 年額 100,000円より

法人維持会員 年額 100,000円より

◎ マンスリーサポート維持会員(個人のみ)

クレジットカード決済により継続的な寄附が可能(毎月1回 ￥1,000から自動引き落とし)

利用できるカード VISA・MASTER・JCB・AMEX・DINERS



ボーイスカウト埼玉県連盟の活動を 一緒に応援致しませんか！！

コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)は、CSRの一環としてボーイスカウト埼玉県連盟様を応援します。
子供達の明るい未来を創造する素晴らしい活動を応援するための自動販売機を創りました。
ボーイスカウト活動の支援や一人でも多くの青少年がスカウト活動に参加できるように応援していきます。
是非とも導入を御検討頂けますようお願い申し上げます。

※自販機イメージ



設置メリット ①隊員拡大の広告塔の役割 ②ボーイスカウト埼玉県連盟の活動支援

支援自販機設置

コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)の営業
が訪問して 設置先様の要望に沿った提
案を致します。

コカ・コーラ イーストジャパン(株)は
ボーイスカウト埼玉県連盟様の活動を
支援していきます。

設置先様への手数料をお支払いいたします。
他社との切替や現状の取引条件もあるケースは
個別で対応いたします。
設置先様からもボーイスカウト埼玉県連盟様への支援
も募集しておりますので、宜しくお願い致します。

電気使用料について

- 例 30種類対応機種：自動販売機年間消費電力量（約1,000kwh）
- ✓ 1,000kwh×27円（1kw単価）＝約27,000円（年間） ≒ 月平均約2,250円
- ✓ 2,250円÷30日＝約75円（1日） ※1日あたり約7本以上の販売があれば収益となります

※取引条件に関しては別途お打合せにて決定致します。なお利用見込や環境により設置出来ないことがございます

◆ボーイスカウト埼玉県連盟
さいたま市浦和区北浦和5-6-5浦和合同庁舎別館内
担当 角尾雅也 事務局長
電話 048-822-2463 FAX 048-822-2155

◆コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
ベンディング大宮支店
さいたま市見沼区片柳1012-1
担当 中井英結 / 金井塚誠人
携帯:090-8559-3924 / 080-1149-0033

※別途設置紹介依頼書に記入してボーイスカウト埼玉県連盟へFAXをお願い致します。

年 月 日

公益財団法人ボーイスカウト埼玉県連盟
事務局御中

【送付先】

アドレス: boyscout-saitama@coral.broba.cc

FAX: 048-822-2155

ボーイスカウト埼玉県連盟支援自販機設置紹介連絡書

※お客様 → 事務局

【お客様情報】

法人名・個人名			
住所			
ご担当者様			様
ご担当者様連絡先(携帯TEL等)			
設置場所(物件名)			
自働販売機設置希望日 (契約内容合意した日から2~3週間ほど必要)	月	日	頃の設置を希望
自働販売機設置希望台数			台
そのた連絡事項			

※事務局 → コカ・コーラ窓口担当者

事務局から伝達事項	
-----------	--

【商談結果のご報告】

※コカ・コーラ窓口担当者 → 事務局

設置可否について	1. 設置可	2. 設置不可
支援金について	1. 支援金あり	2. 支援金なし
支援金額(歩率or円建て)	売上高の %	
設置予定日		
内容		

さいたまーち 概要

名 称：第14回 さいたまーち～見沼ツデーウォーク～

開催日：令和8年3月28日(土)・3月29日(日) 2日間 ※両日雨天決行

参加者：5, 9 0 2名 (2024年度実績。2日間のべ) 目標10,000人

内 容：グループ、家族または個人で、設定されたルートを楽しみながらウォーキングルートは28日(土)は北ルート(10・20・30km)、29日(日)が南ルート(5・10・20km)と幅広いレベル、ニーズに合わせた設定。

ル ー ト：Day1 (3/28)：見沼たんぽ北ルート(大宮公園と人形のまち岩槻)

Day2 (3/29)：見沼たんぽ南ルート(見沼代用水と芝川)

時 間：ルート、距離によりスタート時間は異なる(目安 08:00～11:30頃)

ゴール時間も異なるが、おおよそ16:00頃には全ルート終了想定

目 的：①健康増進

参加者が日常的に運動習慣を身につけ、生活習慣病予防やストレス解消を図ること

②地域交流の促進

地域住民や職場の人々が一堂に集まり、交流を深める機会を創出すること

主 催：一般社団法人さいたまスポーツコミッション/一般社団法人日本ウォーキング協会

NPO法人埼玉県ウォーキング協会

共 催：さいたま市/さいたま市教育委員会

参加費：大人1,500円/小中高校生500円/小学生未満無料(事前申込)

大人2,000円/小中高校生1,000円(当日申込)

団体申込：(大人のみ)1人あたり参加費(20人以上：100円、50人以上200円)を割引。

※さいたまーちは第11回大会より国内で最も権威があるのマーチングリーグ(日本マーチングリーグ【JML】)の認定大会となっている。



同時開催イベント/特別企画



市内、市外からさいたまーちに訪れた方に、さいたまの「食」の発見を楽しんでいただくとともに、会場広場の賑わいを創出します。



中学生以下を対象としたウォーキング体験イベントでクイズラリー形式のウォーキングになります。沢山のお土産が貰えるのもオススメ



「ごみ拾いはスポーツだ！」を合言葉に、チームでゴミの量・ポイントを競います。世代を問わず参加できる大会になります。



今後のスケジュール

	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03
マイルストーン							第1回実行委員会	募集開始				マーチ開催



埼玉ベンチャー大会 2026 情報

報告：第2回キックオフ＆プロジェクトチーム交流会

10月26日(日) 14:00～16:30 さいたま市岩槻駅東口コミュニティセンターにて

参加スカウト：さいたま 205 団 5 名、さいたま 218 団 1 名、さいたま 103 団 2 名、
さいたま 1 団 1 名、さいたま 21 団 2 名、さいたま 8 団 1 名、
鴻巣 3 団 2 名、東松山 1 団 1 名、加須 1 団 2 名、久喜 21 団 1 名、
春日部 9 団 3 名、蓮田 1 団 1 名、志木 1 団 1 名 計 23 名

内容：新規プロジェクト立ち上げ方法の説明

既存プロジェクトの計画 など

	プロジェクトチーム名	プロジェクト内容
前回結成されたプロジェクト	爆モテ韓国アイドル化プロジェクト	ダンス発表
	elmis スペシャルライブ	バンド発表
	本の世界へ Let't go！ビブリオバトル	好きな本紹介バトル
	#青春一筆	書道
	薫うせえるすまん	わら工作
	URAKATA	ステージ司会・発表・放送
	宝探しドロケイ	鬼ごっこ
	五感で GOKKAN	雪洞キャンプ
	超!! ロング流しそうめん	巨大流しそうめん
	キ。～木同説について～	ウッドクラフト
	O.B.～廊下は走るな、撃て～	サバイバルゲーム
	動画撮影	動画撮影・発表
今回	水引体験チーム（仮称）	水引の体験・おみやげ作り



お願い：1. 大会公式 LINE（※送信数に制限があるためスカウトのみ登録可）

⇒大会参加対象スカウトは参加不参加に関わらず、まずは登録を！

<https://lin.ee/o0W47jy>



2. 各地区へ大会当日スタッフ募集（別紙）

3. 県連盟各運営委員会の委員長へ別途業務分担を依頼予定

2025 年 11 月吉日

各団団委員長 各位
ベンチャー隊長 各位

埼玉ベンチャー大会 2026 実行委員長 脇田大輔

大会スタッフの募集とご支援のお願い

三指

埼玉ベンチャー大会 2026 開催にあたり、ご理解・ご支援をいただきまことにありがとうございます。スカウトの個別プロジェクトへの勧誘も開始し、大会開催まで 5 か月を切りました。今後は大会当日の参加受付の開始やガイドブックの配布などが予定され、100 名のスカウト参加に向けて実行委員のメンバーも準備を進めている状況です。

そこで大会実施に伴い、スカウトの安全配慮や運営など指導者やローバースカウトのご支援をいただきたく下記の概要で大会スタッフを募集させていただきます。

ぜひご検討をいただきご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

弥栄

募集概要

- ❖ 募集名称 : 埼玉ベンチャー大会 2026 大会スタッフ
- ❖ 役務内容 : 安全管理・調理補助・会場設営・会場撤収・プロジェクト運営サポートなど
- ❖ 募集対象 : 指導者、ローバースカウト、技能章指導員、団委員など（各地区最低 5 人）
- ❖ 期 間 : 2026 年 3 月 20 日から 23 日まで
(20 日 21 日および 22 日 23 日で前後半分かれても可)
- ❖ 場所 : 鴻巣市鴻巣市下谷 369 旧常光小学校
- ❖ 募集方法 : 12 月のスカウト向け参加受付開始後、WEB にて募集を行います
- ❖ 参加に伴う留意点
 - 宿泊をしていただける場合には野営となります
 - 食事に関してはスカウト同様に食費を徴収させていただく予定です

19NSJ 準備委員会

➤予備申込の状況

10/31 で締め切った内容を速報として別紙にて報告します。

※現段階の県連派遣団本部は、11 人

➤派遣団として提供のプログラム

10/30 に日連から連絡があり、派遣団として、スカウト対象のプログラムを展開していただきたいとのところ。派遣団 3～5 個隊でも 1 つのプログラムということであり、プログラム内容・対応人員を考えて、埼玉県連としてどのように計画・調整していくかを準備委員会と派遣隊長で協議していく。

➤大会スタッフについては、派遣隊 1 個隊につき 10 人の参加をお願いしていく

⇒ 確定申込時まで、調整していく。

半日程に参加については、原則 8 月 7 日を交代日とし「前半⇒8/2～8/7」「後半⇒8/7～8/11」前半、後半と 2 人 1 組での参加の場合、参加費の減免となった。

⇒ 地区を越えての調整も検討していく。

➤派遣隊指導者(隊長以外)の半日程参加について

8 月 7 日を交代日とし「前半⇒8/2～8/7」「後半⇒8/7～8/11」とする

➤資機材輸送について

日連からの最新連絡(10/21)時でも、輸送計画について以下のとおりです。

「予定申込と同時にを行うところ実施が遅れており、誠に申し訳ございません。現在、輸送部にて派遣隊資器材の輸送や場外駐車場の調整を行っています。調査内容がまとまり次第実施しますので、今しばらくお待ちください。」

県連としては、JITBOX での輸送を想定し、物流業者と打合せを始めています。

<今後の予定>

●参加予定申込

団から県連盟への申込期日 ⇒ 既に配信の申込要領・申込書参照

；2025 年 11 月 17 日までに予納金を県連盟口座に送金

県連盟から日本連盟への申込期日：2025 年 11 月末日

●参加確定申込 ⇒ 確定申込書は別途

団から県連盟への確定申込提出、残金送金期日

；2026 年 4 月 10 日

県連盟から日本連盟への申込期日：2026 年 4 月 20 日

以上



2025年11月1日 理事会

日本連盟理事・委員会委員の報告

委員会	委員	報告事項
理事会	山本理事	<p>◎10月4日 第3回理事会 @オンライン</p> <p>①承認事項(1～11号議案 以下抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定款第19条(評議員の定数削減) ・教育規程の改正(信仰奨励章の取得条件、海外渡航に関する基準、コミッショナー訓練の指導要員の変更、指導者の正装) ・S.f.Hガイドライン修正 ・第14回アグーナリーの開催(2028年度開催) <p>②協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そなえよつねに共済」掛け金、賠償責任保険の免責金額の改定について。今後関係部署にて継続審議し具体的な提案ができるように準備を行っていく。 <p>③その他報告事項(以下抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19NSJ現況報告、エンタープライズ実績報告、顧問の辞任、Scout UPの利用について
組織拡充委員会	杉尾委員	<p>◎10/26 委員会(第7回目・対面)</p> <p>①2025年度組織活性化戦略セミナー開催について 埼玉 担当:光来出委員(大分県連所属) 11月29日実施 開催要項を参照</p> <p>②全国組織拡充担当委員長(第2回全体会・対面) 2025年10月25日(土)13:00～17:00 2025年10月26日(日)9:00～12:00 プログラム</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)各種委員会の事業報告と組織拡充に関すること 2)講話 木村副総コミ 担い手を増やす為に県連盟でのアクションを ～神奈川連盟の事例に基づく分析と方向性～ 3)クロストーク 「教育推進を拡充につなげるために」 4)ワークショップ 「30秒で伝えるスカウトの魅力」30秒動画の作成 ・テーマ 体験に来た子ども・保護者にボーイスカウト の魅力を30秒で伝える 5)2号会員登録管理小委員会事業のヒヤリング 6)「人生の岐路に立つ君へ」事業の協力 <p>*各会議資料は、後日、県連盟配布予定</p>

<p>ファンドレイジング 委員会</p>	<p>鈴木委員</p>	<p>① 19NSJ 協賛について ・三菱 UFJFG ・助成金申請 ・チャリティゴルフコンペ計画 ② 地域連携セミナー ・2025/11/27 開催 ③クラウドファンディング ④維持会員ニュース(冬号) ⑤ぼうさい国体(新潟 9/実施)他</p> <p>※次回 11/21 オンライン</p>
--------------------------	-------------	---

県連盟コミッショナー会議

2025 年 10 月 17 日(金) 19:30~21:20 オンライン

県 5 : 地区 : みなみ 2 さいたま南 2 さいたま北 5 むさし 4 北武 3 東埼玉 4 ひがし 6 西部初雁 5 奥武蔵 5 計 41

1. 連絡・報告事項

- ・団委員研修所 関東第 28 期 11/1-3 ボラスグループセミナーガーデン(越谷市)
- ・コミッショナーベシクトレーニング 関東 5 期 11/1-3 群馬県青少年会館
- ・コミッショナー任務別研修 地区コミッショナー課程 関東 5 期 11/22-23 群馬県青少年会館
- ・コミッショナー任務別研修 団担当コミッショナー課程 関東 1 期(試行) 12/20-21 さわやかちば県民プラザ
- ・来年度は那須野営場の利用は不可(解体工事の為)

2. 今月のテーマ

「ローバー活動の支援について」 江村副コミッショナー

【導入】

今月のテーマ活動の支援について、SDGs 目標の達成が困難(大きすぎないか?)であることなどと、ローバースカウト活動が類似していないだろうか?

【展開】

- ・「Saitama Youth Kickoff Camp 2025」について、コミッショナーとしての認知度は?
- ・リーダーハンドブックの紹介(デジタル版)
- ・私たちが送り出すよりよい社会人とは?

<地区別討議>

- ・役に立つ社会人とは?について具体的に地区別に考えてみる

発表例: 自ら判断して行動できる人。社会に奉仕できる人。任務を遂行できる人。グループワークのリーダーシップが重視できる人。他者とのコミュニケーションを円滑にする能力が持てる人。など

【まとめ】

ほんの少し変えることを積み重ねることは、よりよい社会に向かう。

ローバースカウトと話す機会では、身近な事柄を話すことで成人がもつ経験を伝えることができるのではないだろうか。

3. 日本連盟への問い合わせ窓口通報事案(苦情その 1) 9 月 21 日

東武伊勢崎線: 該当団無し。結果を日本連盟へ報告済→日本連盟からは他県連盟も継続照会とのこと

4. 日本連盟への問い合わせ窓口通報事案(苦情その 2) 9 月 28 日

大宮駅-南与野 埼京線: ⇒さいたま市内所属団であることを確認。当該地区コミッショナーより報告。

県コミッショナーより通報者へ謝罪文送付。日本連盟へも同報にて報告済

5. 日本連盟への入団問合せに対して(未対応)

9 月初旬日本連盟へ、入団問い合わせ(2 名)。問い合わせ者より返信がないとのことで、県連事務局、県コミッショナー宛に確認依頼の連絡⇒日本連盟より 10/19 に再確認依頼の連絡あり: 当該地区「さいたま南地区」

当該地区コミッショナーにて、直接問合せ者へ電話連絡を入れて現況確認を依頼

→10/26 地区コミッショナーより回答 1 名は他団へ紹介。もう 1 名は入団見合わせ。今後(当面の間)、当該団への問い合わせは地区コミッショナーが担当することを日本連盟へ報告。

6. セーフ・フロム・ハーム 日本連盟通報事案について

- ・東埼玉地区: 日本連盟への最終報告書取りまとめ段階。
 - ・西部初雁地区: 関係者への事実ヒアリングが終了。コミッショナーグループで最終方向性協議。合意段階に至らず。
- 【10 月新規通報】みなみ地区: 保護者から団・隊指導者に対しての指導方法について。県コミ G にてヒアリング中。

次回 11 月 21 日(金) 19:30-21:00 オンライン 「組織拡充の状況と今後に向けて」